

## 第七十三回 帝國議會

## 臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄(速記)第十二回

		會 議	
		昭和十三年三月四日(金曜日)午前十時四十 六分開議	
		出席委員左ノ如シ	
委員長	高橋熊次郎君	岡田 忠彦君	山川賴三郎君
理事岡本實太郎君	理事岩瀬 亮君	森田 福市君	坂田 道男君
理事東條 貞君	理事河野 密君	片山 哲君	水谷長三郎君
前田房之助君	渡邊玉三郎君	三木 武夫君	
勝 正憲君	愛野時一郎君		
堀内 良平君	小申 清一君		
青山 憲三君	宮本雄一郎君		
服部 岩吉君	木本主一郎君		
		同日委員野中徹也君及中島彌團次君辭任ニ 付其ノ補闕トシテ玉野知義君及中村梅吉君 ヲ議長ニ於テ選定セリ	
		同日理事野中徹也君ノ補闕トシテ玉野知義 君理事ニ當選セリ	
		年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追 加發行ニ關スル法律案(政府提出)ノ審査ヲ 本委員ニ付託セラレタリ	
		出席國務大臣左ノ如シ	
		商工大臣 吉野 信次君	
		本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	
		臨時租稅增徵法中改正法律案(政府提出) 所得稅法中改正法律案(政府提出) 相續稅法中改正法律案(政府提出)	
		登錄稅法中改正法律案(政府提出) 酒造稅法中改正法律案(政府提出)	

付託議案  
臨時租稅增徵法中改正法律案(政府提出)  
所得稅法中改正法律案(政府提出)  
相續稅法中改正法律案(政府提出)  
酒造稅法中改正法律案(政府提出)  
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)  
麥酒稅(政府提出)  
正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出)  
支那事變特別稅法(政府提出)  
臨時租稅增置法案(政府提出)  
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)  
臨時租稅增置法案(政府提出)  
昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(政府提出)  
支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ為公債發行ニ關スル  
件(政府提出)  
關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及  
樺太局ノ各別會計ニ於ケル租稅及  
收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍  
事費特別會計ニ繰入ルコト  
ニ關スル法律案(政府提出)  
昭和十三年度一般會計歳出ノ財源  
充ツル爲公債追加發行ニ關スル  
法律案(政府提出)



歲入歲出總豫算ニ伴フ一般會計歲入不足ノ補填ニ付キマシテハ、既ニ法律案ヲ今期議會ニ提出シテアリマスルガ、今回別途提出一號ニ計上セル經費ノ所要財源總額三億八千六百四十餘万圓ノ中、三億千三百四十餘万圓ハ増稅其他ノ普通歲入ヲ以テ之ニ充當スルコト致シマシテ、其殘額七千三百餘万圓ハ今日ノ場合之ヲ公債ニ依ルノ外アリマセヌノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、尙ホ本法律案ハ、前述ベマシタヤウニ、總豫算ニ伴フ歲入補填公債法案ガ目下御審議中ナルニ顧ミマシテ、別ノ法律案ト致シマシタ

ノ上ニ差支ガアルト云フヤウナ趣デアリ  
マス、ソレデ他ニ率先シテ此事項ヲ取扱  
ヒタイトモ考ヘテ居リマスカラ、委員諸  
君ニ於カレマシテモ即刻質問等ニ付テノ御  
準備ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、イツ何  
時此順序ヲ變更シマシテ、之ヲ特別ニ取  
扱フコトニナルカモ知レマセヌカラ、豫  
メ御含ミ迄ニ申上ゲテ置キマス——森田  
君、今日質問ヲ繼續ニナリマスカ——森田  
君

○森田委員 昨日ノ殘リデ政府委員ノ方ニ  
御尋シテ見タイ所ガ三四點アリマスカラ、  
御尋シタイノデアリマス、昨夜大藏大臣ト  
應答シタ中ニ、大體要ヲ得テ居ルノデアリ  
マスガ、例ノ歳費ノ所得稅ノ問題デス、之  
ヲ事務的ニ一ツハッキリサシテ置キタイト  
思フノハ、昨夜大藏大臣ハ、歳費ノ所得ニ  
付テハ成程旅費ノ部分モアラウ、併シ所得  
ニナル點モアラウト云フ風ニ話サレタ、成  
程人ニ依ヅテ旅費ニモナリ所得ニモナル點ガ  
アラウト思ヒマスガ、サウスレバ旅費ニナル  
點ニ付テハ是ハヤリ控除スベキモノデアル、  
私ハ斯ウ考ヘル、第一ニ三千圓ノ議員ノ歳費  
ハ本當ハ一文モ收入ニハナラヌ、何故ナラヌ  
カト言ヘバ、大體今迄ノ選舉ノ回數ハ二年半  
デ一回ニナツテ居ル、サウシテ法律デ認メル選  
舉費ガ全國平均デ九千四五百圓デアルト私

ハ思フ、サウスルト歳費ハ選舉費ニ足ラ  
スカラ、其方カラ見テモ所得ニハ一錢一厘  
モナラヌ、又サウデナク別ナ問題ニシテ置  
カウデヤナイカト云フ政府ノ考ヲ持ツテ來  
ルナラバ、今私ガ言フヤウニ所得ニナル點  
トナラザル點ヲ明瞭ニシテ、三千圓ノ中デ  
幾ラガ所得ニナリ、車馬賃、宿泊料、其他  
滞在料ハ旅費デスカラ、當然是ハ所得ニナ  
ラヌト云フ點ヲ分ケテ、稅務當局ガ課稅ヲ  
スル際ニハ斟酌ヲ加フベキモノデアル、全  
額悉クソレヲ所得ト看做スノハ間違ヒデア  
ルト思フガ、事務當局ハ之ヲ如何ニ考ヘテ  
居ラレマスカ

適用ヲ受ケマシテ、所得總額一万二千圓以下ナル場合ニ於ケル勤勞所得デアリマスレバ、一割乃至二割ノ控除ヲ受ケルノデアリマスルケレドモ、先程モ申シマシタ通り、必要經費トシテハ是カラ控除スルコトガ出来ナイコトニ法律ノ立前ガナツテ居ルノデアリマス、隨テ只今稅務署ニ向ッテ、歲費ノ中カラ必要ノ經費ヲ引イテ吳レト仰シヤッテモ、ソレハ法律ノ立前上出來ナイコトニナツテ居リマス、併シ森田サンノ御述ニナルヤウニ、何故斯ウ云フ風ニシタカト云フコトニ付テハ、御話ノ通リ歲費ノ中ニハ費用號ニ上ツテ居リマス他ノ俸給給料等ト似通ツタ性質ノモノモゴザイマスノデ、立法當時ニ於キマシテハ大多數ノ人ニ付テ考ヘマシテ、寧ロ此歲費ナルモノハ俸給給料ト性質ガ同ジヤウナモノト看做シテ、五號所得ノ中ニ俸給、給料等ト並ベタヤウナ次第アルリマス、今後ノ立法問題トシテ、歲費ノ中ニハ費用辨償ノ部分ガ相當ニアルノデアルカラ、五號所得ニ入レテ置クノハ惡イ、之ニ付テ俸給、給料ト區別シテ、必要ナル經費ヲ差引キ得ルヤウナ、例ヘバ六號所得ノヤウナモノニ入レテハ如何カト云フコトデゴザイマスレバ、將來ノ立法問題トシテ御意見ノ點ハ十分考ヘテ見タイト思ツテ居リ

○森田委員 御答デ能ク分リマシタガ、私は

ハ能ク分ッタラ直チニヤッテ貰ヒタイト思ヒ  
マス、後日ニ残サヌデ宜イト思ヒマスガ、

ソレハ此委員會デト云フ譯ニハ行カヌカモ  
知レマセヌガ、速ニ其點ヲ考慮サレテ、本

當ノ所得ニナル點トナラザル點ヲ考ヘルコ  
トハ宜イガ、ソレヨリモ旅費ヲ拂フノガ一

番宜イト思フ、是ハ太田政務次官ニ御意見  
ヲ聽クガ、現在ノ所得ノ儘ニ置イテ宜シイ、

サウシテ所得稅ヲ取ツテ貰フ、ソレハ給料ニ  
ナルモノト同様ニシテ宜イト思フ、何故ナラ  
バ此所要經費三千圓ノ中ドノ程度ガ所得ニ

ナツテ、ドノ程度ガ旅費車馬賃ニナルカト云  
フコトノ區分ハ困難デハナイカト思フ、愈々  
區分シテ課稅ヲシヨウトル際ニ面倒ガ生  
ジテ來ルカラ、ソレヨリモ住居ヲ東京市ニ  
持タザル者デ、上京シテ宿泊料、車馬賃ヲ  
要スル者ニハ、旅費ヲ拂ツテ行クコトガ一番  
簡單デハナイカ、サウセヌト所要經費ノ計  
算ニ當ツテ面倒ガ生ズルト思フガ、太田政務  
次官ハ此點ドウ御考ニナリマスカ

○太田政府委員 只今解釋論トシテハ、松  
隈政府委員カラ申述ベマシタヤウニ、今ノ  
所ドウモ仕方ガナイト思ヒマス、立法問題  
トシテ將來ノコトニ付テハ御意見ノ點モ能  
ク考ヘテ見タイト思ヒマス、實際問題トシ

テハドウモ森田サンノ言ハレルヤウナ場合

モ多カラウト思ヒマスガ、今此處デ私カラ  
言切ル譯ニ行キマセヌガ、非常ニ貴重ナル  
御意見トシテ承ッテ置キマス

○森田委員 其點ハ政府ノ方デ能ク御分リ  
ニナツタヤウデアリマスカラ、次ノ機會マデ  
ニハ何トカナサルモノトシテ、此質問ヲ終

ヘテ置キマセウ

○東條委員 其事ニ關聯シテ、地方議會

即チ府縣會トカ市會ナンカデ議員ニ色々ナ  
名稱デ出シテ居ルノガアリマスガ、アレハ

所得ノ方ハドウ云フヤウニ扱ツテ居ラレマ  
スカ、ソレヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○松隈政府委員 地方團體即チ府縣市町村  
等ニ於テ、議員ニ支給致シテ居リマスルモ  
ノハ、衆議院議員貴族院議員等ノ場合ト違

ヒマシテ、費用辨償ト云フヤウナ名目ヲ以  
テ支出スルコトニナツテ居ルノデアリマス、  
此發端ハ恐ラク實際ノ費用ヲ辨償スルト云

六號所得ハ必要ナ經費ヲ差引イタ殘リニ課  
シタケレドモ、私ガ前ニ申上ゲマシタ通り、  
六號所得トシテ見テ居リマスルカラシテ、  
人ニ於テ必要ナ經費ガ是ダケ掛ッテ、例ヘバ

千五百圓ナリ二千圓ナリ貰ッタケレドモ、費  
モソレニ近イモノデアルト云フコトヲ證明スレバ、  
用ガ是々アツタト云フコトヲ證明スレバ、

ソレダケ引イタ殘リニ課稅シマス、其證明  
之ヲ非課稅ノ取扱ヲシテ參ッタノデアリマ  
スガ、其後段々實情ガ變ツテ參リマシテ、近

年ニ於キマシテハ、衆議院議員貴族院議員  
ノ歲費程ハ參テ居リマセヌケレドモ、段々  
ソレニ近イ程度マデ費用辨償ノ額ガ増額サ

レテ參リマシタ、サウシテ費用辨償トハ申

シマスケレドモ、別ニ出席日數等ニモ比例  
致シマセヌノデ、此性質ハ五號所得ノ歲費

ニハ何トカナサルモノトシテ、此質問ヲ終  
ニ置キマスケレドモ、金額ノ一定限度以上

ノモノニ付キマシテハ、之ヲ歲費ト認メル  
譯ニハ行キマスマイガ、第十四條第一項ノ  
第六號所得、詰リ其他ノ所得トシテ課稅致  
シマシテモ差支ナカラウ、寧ロ課稅ヲ致ス  
方ガ五號所得ノ歲費トノ權衡モ取レル所以  
デアルト考ヘマシテ、最近ニ取扱ヲ變ヘテ、  
只今仰シヤツタヤウナ費用辨償ノ金額ノ多

シマシテモ差支ナカラウ、寧ロ課稅ヲ致ス  
タヤウニ、政府ハ安イ時ノ單價ヲ以テ數量  
モ此間鑛物增產ノ委員會デ質疑應答ガアッ  
タヤウニ、政府ハ安イ時ノ單價ヲ以テ數量  
ヲ幾ラヽ單價ハ幾ラ、從テ金額ハ全額デ  
是々デ許可スルト云フヤウナコトヲ内々取

極メテ置カレル爲ニ、單價ガ上ツテ來タモノ  
デアルカラ、豫定ノ數量ガ入ツテ來ヌト云フノ  
ガ澤山アル、是等ハ勿論考慮ナサイマセウ

ガ、現ニ一番困ツテ居ルノハ、陸海軍ノ兵器  
ノ改造ナドノ註文ヲ受ケテ居ル會社ガ非常

ニ急ガレル、時局柄又急グノガ當然デス、  
ソレデ此兵器ノ改造ニ要スル機械ヲ獨逸カ  
ラ取入レタイ、「クルップ」ノ會社ノ製品ダ

ソウデスガ、之ヲ取入レタイカラ爲替ノ許  
可ヲ屢々迫ツテ來ルノデスガ、一向大藏省ガ、

爲替ノ總額ガ何トカ云フコトデ許可ヲ與ヘ  
ナイ、然ルニ一方軍ノ方デハ急イデ證文マ

○東條委員 一定ノ限度以上ト云フ其限度

ハ幾ラニナツテ居リマセウカ、ソレカラ最近  
ト云フ御言葉デアリマスガ、ソレハ何時カ  
ラデアリマセウカ、明瞭ニ伺ツテ置キタイ

ト非常ニ似通ツテ參ッタ、ソコデ五號所得ノ  
歲費ニ課稅シテ居リマスル權衡上、金額ノ  
少イモノハ大體費用辨償ト見テ依然課稅外

ノモノニ付キマシテハ、之ヲ歲費ト認メル  
譯ニハ行キマスマイガ、第十四條第一項ノ  
第六號所得、詰リ其他ノ所得トシテ課稅致  
シマシテモ差支ナカラウ、寧ロ課稅ヲ致ス  
方ガ五號所得ノ歲費トノ權衡モ取レル所以  
デアルト考ヘマシテ、最近ニ取扱ヲ變ヘテ、  
只今仰シヤツタヤウナ費用辨償ノ金額ノ多

シマシテモ差支ナカラウ、寧ロ課稅ヲ致ス  
タヤウニ、政府ハ安イ時ノ單價ヲ以テ數量  
モ此間鑛物增產ノ委員會デ質疑應答ガアッ  
タヤウニ、政府ハ安イ時ノ單價ヲ以テ數量  
ヲ幾ラヽ單價ハ幾ラ、從テ金額ハ全額デ  
是々デ許可スルト云フヤウナコトヲ内々取

極メテ置カレル爲ニ、單價ガ上ツテ來タモノ  
デアルカラ、豫定ノ數量ガ入ツテ來ヌト云フノ  
ガ澤山アル、是等ハ勿論考慮ナサイマセウ

ガ、現ニ一番困ツテ居ルノハ、陸海軍ノ兵器  
ノ改造ナドノ註文ヲ受ケテ居ル會社ガ非常

ニ急ガレル、時局柄又急グノガ當然デス、  
ソレデ此兵器ノ改造ニ要スル機械ヲ獨逸カ  
ラ取入レタイ、「クルップ」ノ會社ノ製品ダ

ソウデスガ、之ヲ取入レタイカラ爲替ノ許  
可ヲ屢々迫ツテ來ルノデスガ、一向大藏省ガ、

爲替ノ總額ガ何トカ云フコトデ許可ヲ與ヘ  
ナイ、然ルニ一方軍ノ方デハ急イデ證文マ

ノ統制法デ私ハア、云フ點モサウ云フコト  
ハシナイヤウニト言ッタ、サウ云フ必要ノ輸  
入ニ對シテハ壓迫ヘ加ヘヌ、殊ニ軍需品ニ對  
シテハ一番ニ之ヲ認メテ行ク、斯ウ云フ法律  
ヲ制定シタカラトテ、要スルニ國內ニ不要ノ  
モノヲ輸入シヨウト思フモノニ對シテノミ、此  
法律ヲ適用スルノデアルト云フ風ニ説明シテ  
居ラル、ニモ拘ラズ、實際ハソレヲ御守リ  
ニナラヌヤウデスガ、此點ハドウ云フ譯デ  
アルカ、是ハ政府委員全般ニ御聽キヲ願ヒ  
タイガ、法律ヲ通ス時ニハ沟ニ説明ハ懇切  
テアリ、丁寧デアリ、巧イコトヲ竝ベラレ  
マスガ、愈、實行ニ當ツテハソレヲ更ニ御守リ  
ニナラヌノハ、獨リ大藏省ノミデハナイ、  
各省トモ其辯ガアル、私ハ此點ハヤハリ此  
席上ニ言ハレタコトハ守ラナケレバイカヌ  
ト思フ、前ノ臨時利得稅委員會ノ時ニ愈、討論  
採決ニ際シテ、基本年度ヲ決メル、昭和四  
五年ノ基本年度ノ期間中ニ同盟罷工ナド  
アツカ會社ニ對シテハ、斟酌ヲ加ヘテ課稅ス  
ルト云フコトヲ明瞭ニ石渡君ガ、課長時代  
當時答辯ヲセラレテ、太田サンモ其席  
ニハ居ラレタ、然ルニ其後、斯ウ云フ重要ナ  
委員會ノ席上ニ政府委員ガ責任ヲ持ッタ答

云フコトハドウモ惡イト思フ、實行ノ出來  
ヌコトナラバ、明瞭ナ答ヲセヌ方ガ宜イ、  
今ノ爲替ノ問題デモ總テ委員會明瞭ニサ  
レタコトト、實際ノ事務ヲ執行シテ居ラレ  
ル點ニ於テ大キナ喰違ヒガアル、殊ニ斯ウ  
云フ軍需品デ、而モ急グノダサウデス、急  
グモノデドウシテモ早ク機械ヲ入レテ、早  
ク能率ヲ擧ゲテ納メナケレバナラヌト云フ  
ノニモ拘ラズ、之ヲ抑ヘテ、今尙ホ爲替ノ  
許可ヲセヌト云フコトナノデアリマスガ、  
此點ニ關シテ太田政府委員ノ御考ヲ伺ヒタ  
イ

ノ問題ニ付キマシテ、大藏當局ニ出願致シ  
實際ノ問題ヲ爲替局長ニ付テ承ルコトニ致  
シマスガ、御示シノヤウナ場合ニ於キマシ  
テハ、ソレハ至急ニヤルベキコト存ジマ  
ス、唯實體ガドウ云フ風ニナッテ居ルカ私存  
ジマセヌガ、能ク其事情ヲ承リマシテ、御  
趣意ニ副フヤウニ致シタイト存ジマス  
○森田委員　ドウゾ一ツ爲替局長ト御懇談  
ヲ願ツテ、サウ云フヤウナ軍需ニ關係スルコ  
トハ、當時委員會ノ言明ト實際トヲ竝行サ  
セテ貰フヤウニ願ヒタイ、竝行デハナク實  
行シテ貰ヒタイ、此席上デ言明サレタコト  
ヲ守ツテ戴キタイ、今ノ問題ハ私此席上デ具  
體的ニハ申シマセヌガ、私ノ聞イタ所デハ、  
陸海軍カラ持ツテ來テ居ル軍器ヲ改修スル  
機械ダサウデス、「アルミニウム」デ造ルモ  
ノダサウデスガ、中々其機械ヲ取レナイ、  
機械ノ買付ノ約束ヲシヨウト思ツテモ爲楚督  
ノ許可ヲ中々ヤッテ吳レスノデドウニモナ  
ラヌ、此點ハ役人ノ仕事ト云フモノハ兎角  
手間ノ要リ勝チノモノデ、此爲替ノ許可ナ  
ドハ速ニヤツテ貰ヒタイ、私ハ資金統制法ノ  
許可認可ノ問題ナドヲ見ルノニ、日本銀行ニ  
委託シテドウカト心配シテ居ツタガ、アノ方  
ハ比較的手間ガ要ルヤウニハ思ヒマセヌ、  
勿論是ガ遲クナツテハイカヌ、早イトハ言ヘ

スガ、サウ苦情ヲ付ケル程デハナイ、然ルニ今ノ爲替ノ許可ノ方ハ逆モ御話ニナラヌ、甚シキハ六ヶ月モヒン握ヅテ居ルノガアル、イケナケレバドウ云フ譯ディカヌト云フコトヲ懇切丁寧ニ其人ニ話ヲシテ、斯ウ云フ事情デ許可スル譯ニ行カスト云フ風ニ、今少シク敏速ニ扱ツテ戴キタイト云フ希望ヲ申述べテ置キマス

○太田政府委員 今森田サンノ御話ノ軍需品關係ノコトデゴザイマスガ、各品目ニ付テノ割當ニ付キマシテハ、陸軍海軍ノ當局モ加ハリマシテ、軍需品、民需品ニ分ケマシテ、一定ノ數量ヲ決メテ居ル譯デゴザイマス、隨テ其軍需品ノ中ニ於ケル割當ノ範圍内デゴザイマシタナラバ、勿論御話ノヤウナ點ノ解決ガ早く行ケルコトと思ヒマス、軍需品ト言ヒマシテモ、今ノ割當ノ中ニ於テドウ云フ風ニナッテ居リマスカ、能ク調ベマシテ、又具體的ノ問題ニ付キマシテモ、爲替局長ニ能ク申傳ヘマシテ、其結果ヲ得ルヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○森田委員 軍需品ト云フカ何ト云フカ、兵器ニ改作ヲ加ヘル機械ヲ獨逸ノ「クルップ」會社カラ入レタイ、斯ウ云フノダサウデゴザイマスカラ御含ミ置ラ願ヒマス

ソレカラ是ハ政府委員ノ誰方デモ宜シイノデアリマスガ、例ノ營業収益稅ヲ決定ス

ルニ際シテ、今尙ホ外稅ノ形式ニ據ッテ  
居ル、内容ハ勿論收益ニ關シテ稅ヲ課スル  
コトニナツテ居ルノデアリマスガ、當時ノ御  
説明ハ——御承知ノ通り大正十四年ダツタ  
ト思ヒマスガ、提案ノ理由ニハ、今マデハ  
外形稅ヲ加ヘテ居ツテ、即チ賣上金額ニ營業  
稅ヲ課ケテ居ツタノデアルガ、是デハ不都合  
デアルカラ、營業特別所得稅ト云フ積リデ  
國民ハ納メテ貰ヒタイ、ソレデ本當ニ利益  
ニ課稅スルノデアル、本當ニ收益ニ課稅ス  
ルノデアルト說明ヲ加ヘテ、此營業收益稅  
法案ト云フモノハ通過シタノデアリマス、  
然ルニ近來デモヤハリ各店ニ就テ稅務當局  
ハ賣上金額ヲ聽イテ、其賣上金額ニ對シテ  
各稅務監督局内ニ印刷シテ持ツテ居ル所得  
率ト云フモノヲ加ヘテヤツテ居ル、モウ時勢  
後レデソシナモノヲ使ツテハナラヌ筈デア  
ルガ、今デモ稅務監督局内デハ其地方々々  
デ、例ヘバ小賣ハ百圓ニ付テ幾ラ、卸賣ハ  
百圓ニ付テ幾ラ、豆腐屋ハ一圓ニ付キ四  
七錢ト云フヤウニ、今デモ所得率ト云フモ  
ノヲ加ヘテヤツテ居ルコトハ甚ダ私ハ宜ク  
ナイト思フ、此點ハ一ツ改メテ外形稅ヲ捨  
テテ、サウシテ本當ノ内容ニ依ツテ課稅スル  
考ハナイカト云フコトヲ御尋シマス

シマシテ營業収益稅ニ致シタノデアリマス、從來外形標準デ課稅シテ居タノヲ純益標準ニ依ッテ課稅スルコトニ改正ヲ致シタノハ仰セノ通リデゴザイマス、其施行ニ當リマシテハ、成ベク法律改正ノ趣旨ニ副フヤウニ努力シタノデアリマシテ、此法律改正ノ結果、從來ノ營業稅ノ負擔ト營業収益稅ノ負擔トハ、相當ノ變革ヲ來シタ事實ハ歷然トシテ居ルノデゴザイマス、今日ニ於キマシテモ出來得ル限り此趣旨ヲ徹底スルヤウニ努メテ居リマス、帳簿組織ヲ完備シ、比較的の收支計算ノハッキリシテ居ルモノニ付キマシテハ、稅務署ノ方デ實額調査或ハ收支調査ト申シマスカ、ソレヲ出來ルダケ調查致シマシテ、ソレニ依ッテ課稅スルヤウニ致シテ居リマス、唯遺憾ナガラ中小ノ商工業者ノ多クハ帳簿組織モ完備シテ居リマセヌ、必要ノ經費ト云フモノモハッキリ致サナイノデゴザイマシテ、隨テソレ等ノモノニ付キマシテハ、各稅務署管内ニ於テ中庸ヲ得タ營業者ニ付キマシテ、比較的帳簿モ整ッテ居ルモノヲ適當ノ數ヲ拾ヒマシテ、ソレニ付テ調査致シマシテ、其年ノ賣上ニ對スル純益ノ割合ト云フヤウナモノノ、大體ノ趨勢ヲソレデ見マシテ、他ノ帳簿組織ノ完備シテ居ナイ中小商工業者ニ付テハ、ソレニ準據シテ課稅シテ居ルヤウナ次第デアリ

申シテ居ルノガソレデゴザイマス、併シ之ヲ杓子定規ニ使フト、確ニ實情ニ適シナイ點モアリマスルノデ、或ハ取扱フ商品ノ品質トカ、營業振リノ如何トカ、又ハ借入金ノ多寡ト云フヤウナコトヲ參酌致シマシテ、此標準率ニ對シテ或ル程度ノ範圍ノ増減ヲ爲シ得ルヤウナ内規モ設ケマシテ、出來ルダケ實情ニ副フヤウニ致シマシタ、併シソレデモ尙且ツ實際ノ狀況ニ適シナイト云フヤウナ場合ニハ出來ルダケ實情モ能ク伺ツテ、純益其ノモノヲ捕捉スルヤウニ努メテ居ル次第デゴザイマス

係ナドヲ一人雇ッタラ其家ノ所得ガ皆無クナツテシマフカラ、是ヘ出來ヌ相談デス、ソコデ本人ノ申告稅ニナツテ居ルノダカラ、申告シタモノヲ稅務署ガ認メレバ宜イガ、是ハドウ云フ考カ知ラヌガ、申告セヨト言ツテ申告シタモノヲ、稅務署ガ縁日商人ミタイニ、千圓申告スレバ千五百圓ダラウ、一千圓申告スレバ三千圓ダラウト云フ風ニ、申告ヲ一ツモ信用セヌ、ソレナラバ一層申告ヲ取止メテシマッテ、認定稅ニ全部シテシマッタ方ガ宜イ、申告サスナラ申告ヲ信ジテ認メルカ、ドチラカニシテ欲シイ、個人デモ大キナ商人ハ帳簿ガ整ツテ居ルカラ宜シイガ、併ナガラ千圓内外トカ二三千圓以下ノ利益ヲ擧ゲル程度ノ店ハ、帳簿ガ整ツテ居ラヌノダカラ、私ハドウシテモ今ノ各稅務監督局ニ備ヘ付ケテアル所得率ノ表ト云フモノハ、若シ強ヒテアレヲ是非参考ニ作ッテ置キタイト云フナラバ、何ボ乃至何ボト云フ風ニヤツテ行クナラ、ソコニ斟酌ヲ加ヘラレルト思フケレドモ、アレニハハツキリト金額ヲ書イテアル、稅務署ニ依ツテハ一圓ニ付キ幾ラ、百圓ニ付キ幾ラト云フ風ニヤツテ居ル、或ハ請負ノ仕事ナドハ歩デヤツテ居ル所モアル、アレハ本省ガ作ッテ示シタノデアラウト思フガ、作リ方ガ宜クナイ、強ヒテソレヲ用ヒヨウツスルナラバ、裕リガアル

ヤウニヤツテ置カレデハドウカ、併ナガラ出  
來ルダケ本質ニ則ツテ、純益ニ課稅ヲスル、  
其純益ハ本人ノ申告ニ重キヲ置ク、併ナガ  
ラ申告シテモ證據書類ナリ帳簿ヲ調べテ見  
テ、虛偽ノ申告デアルト云フコトガ立證出  
來レバ、認定稅ニシテ行クコトモ已ムヲ得  
スト思フ、ドウゾ其點ヲ一ツ改正シテ貰ヒ  
タイ、今年カラ是非改正シテ欲シイ、地方  
ニ通牒サレテ完全ナル徵稅方法ヲシテ貰ヒ  
タイ、是ハ私共議會ガ濟メバ直グ地方ニ歸  
リマスカラ、ドウヤラレルカ直グ分ル、ド  
ウカ能ク分ルヤウニ明瞭ニシテ貰ヒタイコ  
トヲ御註文申上ゲテ置キマス

其年ノ状況ニ應ジテ適實ニ標準ヲ持ヘテ實行シテ居ルノデゴザイマシテ、而モ其實行ニ當リマシテ、先程申上ゲタ通り、或ルデゴザイマス、營業収益稅ト營業稅ト殆ド程度ノ伸縮ハ出來得ルヤウニヤッテ居ルノ變リガナイト云フ御話デゴザイマスケレドモ、私ハ實際ハ非常ニ變ツテ來テ居ルト思ヒマス、最モ極端ナ例ヲ申上ダマスレバ、元ハ旅館ト云フヤウナモノハ建物ノ賃貸價格ガ標準ニナツテ居テ、大キナ旅館ハ假令ドンナニ借入金ガ多クアツテモ、其賃貸價格ヲ標準ニシテ課稅シテ居タノデゴザイマスガ、今ハ收入金カラ必要ナ經費トシテ借入金モ控除サレテ居ル、隨テ負債ノ大キイ、營業費ノ澤山掛ル旅館ノ如キハ、ドンナニ立派ナ旅館デモ純益ガ少クナツテ居ル、隨テ少イ課稅ヲ受ケテ居ルト云フノハ一例デゴザイマシテ、大正十五年ノ改正ノ趣旨ハ、理想的トマデハ進ンデ居ナイカモ知リマセヌケレドモ、或ル程度マデハ其目的ヲ達セラレテ居ルト存ジマス、又漸次改善サレテ居ルト思ヒマス、尙ホ誠實ナル申告ハ出來ルダケ尊重致シマス、商業會議所方面トカ、或ハ各種ノ同業組合ノ方ニモ種々ニ諸問致シマシテ、其意見モ十分尊重致シマシテ、出來ルダケ此收益課稅ノ趣旨ニ副フヤウニ努力シ

○森田委員 ドウゾ苛斂誅求ノナイヤウニ  
御願申上ゲテ置キマス、ソレカラ今一つ所  
得ノ申告、營業収益ノ申告等ニ關シテ、所  
得調査委員ガヤツテハイカヌト云フコトガ、  
慥カ法律カ何カニ出テ居ツタヤウニ記憶ス  
ル、ソレハ無理ナコトヲ仰シヤル、私ガ昨  
日モ論ジタヤウニ稅制ハ隨分複雜多岐ニ瓦  
リ、其届出ヲシヨウニモ自分ノ力デハ出來  
ヌト云フコトヲ昨日再々言ウタ、政府デモ  
出來ヌト云フコトハ認メラレテ居ル、法律  
ノ一覽表デモ持ツテ居ラヌケレバ、政府ノ人  
デモ質疑應答ハ勿論、届出マデハ到底出來  
ヌ、況シテヤ稅制ナドノコトニハ一切關係  
ヲセヌヅブノ素人ガ申告ヲスルノニ、申告  
ハセイ、マア減多ニ信用ハセヌケレドモ參  
考ノ爲ニ兎モ角申告サス、サヲスレバ其扱  
ヒヲ能ク知ツテ居ル者ヘ、所得稅ヤ營業収益  
稅ノ調査委員デアルカラ、此能ク知ツテ居ル  
人間ニ皆ガ賴ムコトハ已ムヲ得ヌコトダト  
思フ、賴ンデ行クト非常ニ手間暇ヲ掛ケル  
ノデアルカラ、是亦多少ノ謝禮ヲスルコト  
ハ私ハ已ムヲ得ヌト思フ、ソレヲ申告ハセ  
イ、面倒ニハスル、其様子ノ分ツテ居ル者ニ  
賴ンデハイカヌゾ、是ハ無理デナイカト思

○大矢政府委員　此所謂稅法中改正法律案  
ノ第五十四條ノ一二ニ「調査委員ハ自己ノ所屬  
スル所得調査委員會ノ調査ニ依リ決定セラ  
レタル課稅標準額ニ對スル審査ノ請求、訴  
願又ハ行政訴訟ニ付納稅義務者ノ代理ヲ爲  
シ若ハ其ノ相談ニ應ズルヲ以テ業ト爲シ又  
ハ報酬ヲ得テ此等ノ事務ヲ行フコトヲ得ズ」  
トスウ規定シテ居ルノデゴザイマシテ、所得調  
査委員ハ調査委員會ニ於テ十分御意見ヲ御  
述べ下サルコトハ出來ルノデゴザイマシ  
テ、其調査委員會ノ議ヲ經テ稅務署長ガ決  
定シタ、然ルニ其後ニ於テ其調査決定ガ不  
當デアルト云フノデ訴願訴訟ヲスル、サウ  
云フヤウナコトハ從來ノ實際ニ照シテ見テ  
非常ニ弊害ガアルノデゴザイマス、是ハ或  
ハ森田サンガ、廣島ノ方ノ實情ニ於テハサ  
ウ云フ弊害ハナイト仰シヤルカモ知レマセ  
ヌケレドモ、京都地方トカ大阪地方ハ隨分  
弊害ガアルノデゴザイマス、調査委員デ稅  
務代辦ヲ兼ネテ居リマシテ、調査委員會ニ於  
キマシテハ別ニ何モ言ハズニ決定シテ、ソ  
レカラアノ決定ガ高イカラツ君審査請求  
ヲシ給ヘ、行政訴訟ヲ起シ給ヘト勧メテ、  
隨分高イ報酬ヲ得テヤッテ居ル、是ガ非常  
ニ行ハレテ居ルノデアリマス、其弊害ガ夥

シク、延イテハ各種ノ不祥事件ノ根源ヲ成シテ居ルノデゴザイマスカラシテ、一旦所  
得調査委員會ノ議ヲ經テ決定シタモノニ對  
シテ、其關與シタ調査委員ガ訴願訴訟ヲ起  
スト云フヤウナコトハ一ツ止メテ貰ヒタ  
イ、又報酬ヲ得テサウ云フコトヲスルト云  
フノモ、實際各地ニ於テ色々弊害ガゴザイ  
マスカラ、調査委員ニハ稅務代辦ヲ兼ネテ  
貰フコトハ御免蒙リタイト云フ趣旨デゴ  
ザイマス、決シテ調査委員ノ方ガ色々納稅  
者ノ爲ニ懇切ニ御世話下サル其コトヲ拒否  
スル譯デハ毛頭ゴザイマセヌ

○森田委員 今ノ御話ニ依ッテ、成程多少サ  
ウ云フコトノ弊害ガアルカモ知レヌガ、吾  
吾ハマダソレハ聞イテ居リマセヌ、聞イテ  
居ラナイノミラズ今ノ法律ヲ以テ——是  
ハ普通ノ辯護士ニ賴シダノデハ分ラヌ、分  
ラヌト言フト失言ニナルカモ知レヌガ、普  
通ノ辯護士ニ納稅上ノ訴訟ヲ賴シデモ引受  
ケテハ吳レルガ、兎ニ角モソレハムヅカシ  
イデス、悉ク稅ニ通ジタ人ガ地方ノ辯護士  
ノ方ニ居ラレ、バ申分ナイガ、居ラナイ所  
デハ勢ヒ斯ウ云フ方面ニ通ジタ人ニ賴ムヨ  
リ途ハナイ、ソレヲ廢シテシマフコトハ立  
ルナラバ、行政訴訟少シモ恐ル、コトハナ  
ノ方法ニ依ッテ弊害ヲ矯正スレバ宜シイ、

納稅者ガ不服アリ、申立ヲスルノニ、其  
道ニ通ジナイ人ヲ以テスルコトハ、其人々  
ノ口ヲ封ズルコトデアル、立憲的ナヤリ  
シテ貰ハナケレバナラヌ點デアルト思フ、  
要スルニ稅務署ノアノ委員會ト云フモノハ、  
局長サン御承知デアリマセウガ、諸問機關  
デアッテ決議機關デハナイ、幾ラ何ノ何某ハ  
是ダケガ適正ダト決議ブシテモ、稅務署長  
ガソレハ不當ノ決議デアルト思フカ、自分  
ノ氣ニ入ラナカッタラ用ヒナイデ宜イ、一種  
ノ諸問機關デアル、決議機關ナラバ、ソレ  
ハ今ノヤウナ方法ヲ封ジラレテモ宜イ、併  
シ唯意見ヲ言ハナンダト言ウノモ、ソレハ  
此處デハ分ラヌ、意見ハ言ウタケレドモ用  
ヒラレナカッタカラ行政訴訟ラスルモノト  
見ナケレバナラヌ、ソレデアルカラ此點ヲ  
一ツ決議機關ニシテ置イテ、ソレニ加ッタ者  
ガナツテハイカヌト言フナラ、是ハ私ハ一理  
アルト思ヒマスガ、決議機關デナイ諸問機  
關ニ參與シタ人間ガ、今度ソレ等ノ訴訟ノ  
代理行爲ガ出來ヌト云フヤウナコトヲスル  
コトハ、納稅者ニ不親切ナル所以デハナイ  
カ、稅務署モ公平ナコトヲ決定シタイトス  
ルナラバ、行政訴訟少シモ恐ル、コトハナ  
ノ方法ニ依ッテ弊害ヲ矯正スレバ宜シイ、

デザル調査ヲ行ウテ敢然ト決定シタ金額ナ  
ラバ、何人ガ代理ニナツテ訴訟ヲ起サウガビ  
クトモスルコトハナイ、諸問機關ニ參與シ  
タ者ガ訴訟ノ代理ニナツテハイカヌト云フ  
シテ貰ハナケレバナラヌ點デアルト思フ、  
方トハ思ハレマセヌ、此點ハ一ツ十分考慮  
シテ貴ハナケレバナラヌ點デアルト思フ、  
要スルニ稅務署ノアノ委員會ト云フモノハ、  
局長サン御承知デアリマセウガ、諸問機關  
デアッテ決議機關デハナイ、幾ラ何ノ何某ハ  
是ダケガ適正ダト決議ブシテモ、稅務署長  
ガソレハ不當ノ決議デアルト思フカ、自分  
ノ氣ニ入ラナカッタラ用ヒナイデ宜イ、一種  
ノ諸問機關デアル、決議機關ナラバ、ソレ  
ハ今ノヤウナ方法ヲ封ジラレテモ宜イ、併  
シ唯意見ヲ言ハナンダト言ウノモ、ソレハ  
此處デハ分ラヌ、意見ハ言ウタケレドモ用  
ヒラレナカッタカラ行政訴訟ラスルモノト  
見ナケレバナラヌ、ソレデアルカラ此點ヲ  
一ツ決議機關ニシテ置イテ、ソレニ加ッタ者  
ガナツテハイカヌト言フナラ、是ハ私ハ一理  
アルト思ヒマスガ、決議機關デナイ諸問機  
關ニ參與シタ人間ガ、今度ソレ等ノ訴訟ノ  
代理行爲ガ出來ヌト云フヤウナコトヲスル  
コトハ、納稅者ニ不親切ナル所以デハナイ  
カ、稅務署モ公平ナコトヲ決定シタイトス  
ルナラバ、行政訴訟少シモ恐ル、コトハナ  
ノ方法ニ依ッテ弊害ヲ矯正スレバ宜シイ、

希望スル會社へ行ツテ就職スル必要ハナイ  
ト云フヤウニ優遇ヲ興ヘテ、之ヲ防グヨリ  
仰天地ニ恥デザルモノナラバ、何人ガヤツテ  
モ宜イデヤナイカ、私ハソレヨリモ一層弊  
害ヲ感ジテ居ルノハ、寧ロ稅務署ニ居ル人、  
是ハ昨夜モ申上ゲタノデ御聽キニナツテ居  
ルト思ヒマスガ、稅務署員ノ待遇ヲ好クス  
ルコトデアル、アノ稅務署ノ内デ稅務ノ事  
務ヲ執ツテ能ク頭ニ入ッテ居ル人ガ、會社ヤ個  
人ノ家ヘ脱税係——ト言フト語弊ガアルカ  
モ知レマセヌガ、要スルニ稅係ニ入ッテ行ク、  
アノ方ガ弊害ガ多イ、斯ウ云フヤウニ帳簿  
ヲヤレバ免レル、斯ウヤレバ宜シイ、ア、  
ヤレバ宜シイト云フヤウナ脱税指導係ニナ  
ル、其方が弊害ガ多イト思フ、今ノヤウナ  
弊害ハ、是ハ國ガ損スル問題デハナイ、所  
得調査委員ガ左様ナ代理行爲ヲヤツタコ  
トガアッタシテモ、國家ガ損スル問題デナ  
イ、所ガ今ノ脱税指導ニ入ッテ行クコトハ、國  
所得調査委員ハ其自分ノ所屬スル稅務署管  
内ノ納稅者ニ對シテ懇切丁寧ニ、各種ノ申  
告、申請其他色々納稅ノ御相談ニ興リ、色々  
御世話ヲシテ下サルト云フノハ洵ニ結構  
ナコトデゴザイマシテ、決シテソレヲ拒否  
スル譯デハゴザイマセヌ、ソレカラ専門ノ

知識ヲ持ツテ居ル者アナケレバ、訴願、訴訟ハ十分出来ナイノダト云フコトモ、洵ニ仰セノ通リデアリマシテ、是モ決シテ拒否スル譯デハゴザイマセヌ、唯從來ノ事績ニ徵シテ見マスルト、調査委員ガ自分ノ決議ニ與ツタ事件ヲ取扱ツテ訴願訴訟ヲヤル者ニ付テハ、往々弊害アルノデアリマス、是ハ實際ノ事實デス、ダカラ少クトモ會計士或ハ稅務代辦ヲシテ居ラレル人デモ、調査委員ニナルノハ妨げナイケレドモ、其自分ノ所屬シテ居ル調査委員會ガ決メル事件ニ付テダケハ、報酬ヲ得テ色々御世話ヲスルトカ、或ハ訴願、訴訟ヲヤルコトダケハ控ヘテ貰ヒタイト云フノガ趣旨デゴザイマシテ、決シテ全般的ニ會計士、稅務代辦ガ、訴願、訴訟トカ或ハ報酬ヲ得テ稅務ノ代理ヲ爲スコトヲ一切封ズルト云フ趣旨デモゴザイマセヌシ、又稅務署ノ決定ガ不當ナレバ、之ニ對シテ訴願、訴訟ヲ起スト云フノモ當然ノコトデゴザイマシテ、決シテ當局ニ於テ之ヲ恐レテ封ズル譯デハゴザイマセヌ、尙ホ調査委員會ハ諸問機關デアツテ、決議機關デナイト云フノハ、洵ニ仰セノ通リデゴザイマスケレドモ、是モ實際ノ實情カラ申得テモソレニオ構ヒナシニ稅務署ニ於テ勝

手ニ決定スルト云フ例ハ殆ドナイノデゴザ  
イマス、偶ニハ政府決定ヲスル稅務署モア  
リマスケレドモ、是ハ極ク例外デゴザイマ  
シテ、全國三百有幾ツノ稅務署ニ於テ、政  
府決定ヲ爲スト云フ事例ハ、年ニ依ッテ一件  
位アリマスカ、普通ノ場合ニ於テハ殆ドナ  
イト云フヤウナ狀況デゴザイマシテ、調査  
委員會ノ決議ハ十分尊重シテ居ル次第デゴ  
ザイマス

○高橋委員長 奉聯ノ質問ヲ許シマス——  
岡本君

○岡本委員 今森田委員カラ御尋ニナリマ  
シタ稅務代辦業ノコトデアリマスガ、私ハ  
之ヲ疑ツテ居ル者デアリマス、先づ政府ニ御  
尋致シマスノハ、アノ稅務代辦ヲシテ居ラ  
レルノハ、一體法律事務ト御認メニナリマス  
カ、之ヲ先づ御尋致シマス、私ノ御尋スル  
趣旨ハ、法律事務ナラバ非辯護士取締法ニ  
明ニ抵觸スルモノト思フ、法律事務デナイン  
ト仰セラレルナラバ仕方ガアリマセヌ、詰  
リアノ非辯護士取締法ト云フノハ、俗ニ三  
百代言ト言ヒマスケレドモ、辯護士ニアラ  
ズシテ法律事務ヲ業トシテ扱フ者デアリマ  
ス、ダカラアレハ法律事務ト云フ御解釋カ、  
サウ云フ御解釋デナイカ、之ヲ御尋致シタ

○大矢　イト思  
ノ意義  
分ナガフ  
代辨ハ般  
フヤウシ  
法律事務  
理シテ口  
ト存ジ  
ハ、サ  
ス、唯  
マスト  
ジマス  
ザイマ  
フコト  
答辯致  
○岡本  
云フコ  
ヌガ、訴  
是ハ法律  
マセヌ、  
ラザル者  
テハ辯  
ハ許サ  
法廷ニ出

政府委員 私ハ法律事務ト云フコトニテ、  
ヲ今十分諒解シテ居ルカドウカ、自  
ラ疑ガアルノデゴサイマスガ、税務  
税務ニ關スル申告トカ、申請トカ云  
ナコトヲヤル、アレハ嚴格ナ意味デ  
務デハナクテ、一ツノ事實行爲ヲ代  
居ルト言フベキモノデハナカラウカ  
マス、此税務代辦ノヤッテ居ル仕事ニ  
ウ云フノガ非常ニ多カラウト存ジマ  
訴願、訴訟ト云フヤウナコトニナリ  
仰セノ通り法律事務ニナルカト存  
カ、是ガ果シテ非辯護士取締法デゴ  
スカ、ソレニ抵觸スルカドウカト云  
ハ、一寸私取調ベタ上デナケレバ御  
シ兼ネマス

委員 尚ホ取調ノ上御返事ニナルト  
トデスカラ、強ヒテ深クハ伺ヒマセ  
顧トカ行政訴訟トカラヤル時ニハ、  
伴事務ダト云フコトハ何人モ疑アリ  
又行政裁判ノ時ニハ、辯護士ニアリ  
者モ代理トシテ出マスガ、事實ニ於  
護士デナケレバ、此代理ト云フコト  
ナイト思ヒマス、辯護士タリトモ  
官吏ノ方モ恐ラク同然ダト思フ、

ダカラ官吏デモナク、辯護士デモナイ者ハ、  
アノ行政裁判所ノ代理ヲショウトシテモ恐  
ラク認可サレナイカト思ヒマス、私度々裁  
判所ニ出マス、サウ云フ場合ニハ認可デ括  
ルカラサウ云フ弊害ガナイガ、訴願ニ至ッテ  
ハサウ云フ弊害ハアルノデアリマス、ダカ  
ラアレハ表面ニ名前ヲ出スカモ知レマセヌ、  
出サズトモ裏カラ操ツテソレヲ殆ド業務ト  
スル、斯ウ云フコトヲ隨分ヤリ得ル、ソレ  
ガ爲ニ一方ニハ便利デハアルガ、一方ニハ  
迷惑スルヤウナコトモアルヤウニ私ハ推量  
致シマス、ソコデ今森田委員カラノ御尋デ  
ハ、辯護士ニ持ツテ行ッテハ何モ分ラヌ、斯  
ウ云フ御話デアリマシタガ、ソレハ分ル人  
ト分ラヌ人ト兩方アリマス、辯護士ハ萬般  
ノ法律事務ヲ扱ツテ居リマスカラ、全部細カ  
イ所マデ悉クハ知リマセヌケレドモ、可ナ  
リ能ク分ツテ居ル辯護士モアリマス、隨分近  
頃ハ稅務官吏カラ辯護士ニ及第シテ出ラレ  
ル人ガ東京、大阪、名古屋等ニアリマス、  
地方ノ津々浦々ニアリマス、辯護士デナケレ  
バ扱フコトガ出來ヌト云フコトニナレバ、自  
然辯護士ガ扱ヒマス、勉強モ致シマス、又稅務  
官吏カラ此方ヲ専門ニショウトシテ、辯護  
士試験ニ及第シ、登録サレ、開業サレル人

ガ出來ルト思ヒマス、ソレヲ辯護士ノ者ニ  
扱ハセヌデ、税務署ノ人ガ之ヲ扱フト事細  
カイコトニナル、是ハ税務行政ニ限ツタコ  
トデハナイ、特別行政ノコトハ總テサウデ  
アル、ダカラ立派ニ資格ヲ得タ辯護士ニ扱  
ハセルナラバ弊害モナクナル、斯ウ云フコ  
トヲ私ハ常ニ考ヘテ居ル、ダカラ税務協  
調會トカ、或ハ何ヤラ相談會トカ、色々ナ  
名前ノ會ヲ諸所ニ見マスケレドモ、ドウモ  
私ガ考ヘルト、アレハ非辯護士取締法ニ引  
懸ルデハナイカ、税務代辦業ト云フモノハ  
細カクハ知リマセヌガ、是ハ法律事務デナ  
イト思ヒマス、計理士トカ或ハ會計士、特  
許辨理士、是ハ明ニ法律事務デス、現ニ特  
許辨理士ニ於キマシテモ、盲辨理士ガアッテ  
困ル、ソレデ辯護士法ノ方デ非辯護士取締  
法ガ出來タ、サウスルト是ガ特許辨理士ノ  
方ニ喰込ンデ行ツテ非常ニ弊害ガアル、ダカ  
ラ本年ノ議會ニ、ツイ數日前衆議院ノ本會  
議ヲ通過シタ非特許辨理士取締ノ法律案ヲ  
出サレタ、是ハ既ニ貴族院ヲ通過シテ來テ  
居リマスカラ、近ク必ズ法律ニナルト思ヒ  
マス、斯ウシテ非特許辨理士ヲ取締ツテ見ル  
ト、今度ハ計理士ノ方ニ喰込ンデ來テ、色々  
ナ害毒ヲ流ス、ダカラ計理士ニ於テモ刑  
罰法規ガ必要ニナッテ來ル、況ヤ税務代辦業

ガ法律デナク、一片ノ省令カ勅令デ御設ケ  
ニナツタモノナラバ、法律デ決ツタ仕事ノ範  
圍ト云フコトモ認メル、私ハ異議アリマセ  
ス、篤ト是ハ御研究ヲ願ヒタイ、商法ノ側  
トヲ私ハ常ニ考ヘテ居ル、ダカラ税務協  
調會トカ、或ハ何ヤラ相談會トカ、色々ナ  
名前ノ會ヲ諸所ニ見マスケレドモ、ドウモ  
私ガ考ヘルト、アレハ非辯護士取締法ニ引  
懸ルデハナイカ、税務代辦業ト云フモノハ  
細カクハ知リマセヌガ、是ハ法律事務デナ  
イト思ヒマス、計理士トカ或ハ會計士、特  
許辨理士、是ハ明ニ法律事務デス、現ニ特  
許辨理士ニ於キマシテモ、盲辨理士ガアッテ  
困ル、ソレデ辯護士法ノ方デ非辯護士取締  
法ガ出來タ、サウスルト是ガ特許辨理士ノ  
方ニ喰込ンデ行ツテ非常ニ弊害ガアル、ダカ  
ラ本年ノ議會ニ、ツイ數日前衆議院ノ本會  
議ヲ通過シタ非特許辨理士取締ノ法律案ヲ  
出サレタ、是ハ既ニ貴族院ヲ通過シテ來テ  
居リマスカラ、近ク必ズ法律ニナルト思ヒ  
マス、斯ウシテ非特許辨理士ヲ取締ツテ見ル  
ト、今度ハ計理士ノ方ニ喰込ンデ來テ、色々  
ナ害毒ヲ流ス、ダカラ計理士ニ於テモ刑  
罰法規ガ必要ニナッテ來ル、況ヤ税務代辦業

ガ法律デナク、一片ノ省令カ勅令デ御設ケ  
ニナツタモノナラバ、法律デ決ツタ仕事ノ範  
圍ト云フコトモ認メル、私ハ異議アリマセ  
ス、篤ト是ハ御研究ヲ願ヒタイ、商法ノ側  
トヲ私ハ常ニ考ヘテ居ル、ダカラ税務協  
調會トカ、或ハ何ヤラ相談會トカ、色々ナ  
名前ノ會ヲ諸所ニ見マスケレドモ、ドウモ  
私ガ考ヘルト、アレハ非辯護士取締法ニ引  
懸ルデハナイカ、税務代辦業ト云フモノハ  
細カクハ知リマセヌガ、是ハ法律事務デナ  
イト思ヒマス、計理士トカ或ハ會計士、特  
許辨理士、是ハ明ニ法律事務デス、現ニ特  
許辨理士ニ於キマシテモ、盲辨理士ガアッテ  
困ル、ソレデ辯護士法ノ方デ非辯護士取締  
法ガ出來タ、サウスルト是ガ特許辨理士ノ  
方ニ喰込ンデ行ツテ非常ニ弊害ガアル、ダカ  
ラ本年ノ議會ニ、ツイ數日前衆議院ノ本會  
議ヲ通過シタ非特許辨理士取締ノ法律案ヲ  
出サレタ、是ハ既ニ貴族院ヲ通過シテ來テ  
居リマスカラ、近ク必ズ法律ニナルト思ヒ  
マス、斯ウシテ非特許辨理士ヲ取締ツテ見ル  
ト、今度ハ計理士ノ方ニ喰込ンデ來テ、色々  
ナ害毒ヲ流ス、ダカラ計理士ニ於テモ刑  
罰法規ガ必要ニナッテ來ル、況ヤ税務代辦業

ガ法律デナク、一片ノ省令カ勅令デ御設ケ  
ニナツタモノナラバ、法律デ決ツタ仕事ノ範  
圍ト云フコトモ認メル、私ハ異議アリマセ  
ス、篤ト是ハ御研究ヲ願ヒタイ、商法ノ側  
トヲ私ハ常ニ考ヘテ居ル、ダカラ税務協  
調會トカ、或ハ何ヤラ相談會トカ、色々ナ  
名前ノ會ヲ諸所ニ見マスケレドモ、ドウモ  
私ガ考ヘルト、アレハ非辯護士取締法ニ引  
懸ルデハナイカ、税務代辦業ト云フモノハ  
細カクハ知リマセヌガ、是ハ法律事務デナ  
イト思ヒマス、計理士トカ或ハ會計士、特  
許辨理士、是ハ明ニ法律事務デス、現ニ特  
許辨理士ニ於キマシテモ、盲辨理士ガアッテ  
困ル、ソレデ辯護士法ノ方デ非辯護士取締  
法ガ出來タ、サウスルト是ガ特許辨理士ノ  
方ニ喰込ンデ行ツテ非常ニ弊害ガアル、ダカ  
ラ本年ノ議會ニ、ツイ數日前衆議院ノ本會  
議ヲ通過シタ非特許辨理士取締ノ法律案ヲ  
出サレタ、是ハ既ニ貴族院ヲ通過シテ來テ  
居リマスカラ、近ク必ズ法律ニナルト思ヒ  
マス、斯ウシテ非特許辨理士ヲ取締ツテ見ル  
ト、今度ハ計理士ノ方ニ喰込ンデ來テ、色々  
ナ害毒ヲ流ス、ダカラ計理士ニ於テモ刑  
罰法規ガ必要ニナッテ來ル、況ヤ税務代辦業

ガ出来ルト思ヒマス、篤ト御願致シマス

ガ法律デナク、一片ノ省令カ勅令デ御設ケ  
ニナツタモノナラバ、法律デ決ツタ仕事ノ範

ラウト思ヒマス、篤ト御願致シマス

○大矢政府委員 此税務代辦ヲ此儘ニ放任

レドモ、多クノ辯護士ハ税務ニ付テハ精シ  
クナイ、ソレデ辯護士ニ依頼スルト云フコ

トハ困難ナル趣ヲ言ツテ居ラレルノデス、前

段ヲ少シ聽漏ラサレタノデ、後ノ方ダケヲ

シテ置クノハ各種ノ弊害ガアルノデ、或ル

度マデ取締ラナケレバナラヌ、之ニ付テ

ハ一ツノ法律ヲ要スルノデヤナイカト云フ

カラ言ツテモ、是ハ弊害ガ除カレマスガ、何

時カキット問題ニナツテ來ルト私ハ思ツテ居

ル、非辯護士非特許辨理士、非會計士ノ取

締ノ必要ガ出テ來マス、サウ云フ弊害ノ出

ナイ内ニ能ク御研究ニナリマシテ、誤ツタモ

ノヲ生ゼシメナイヤウニ、又何カ騒ガレル

ヤウナコトノナイヤウニサレタイト思フ、

ソハレ何處カニ生ジマス、今言フ通リニ辯

護士ニ持ツテ行ツタツテ何ニモナラスト云フ

コトハ私共ニハ受取レス、私モ其方デ行政

訴訟ヲヤツタコトモ屢アリマス、又現ニ東京

ニ幾ラモ同僚デ大藏省出ノ辯護士モアリマ

リマス、ソレカラ行政訴訟ハ辯護士デナケ

レバヤルコトハ出來ナイト云フコトハ、仰

セノ通リデアルト思ヒマス、但シソレハ此

規定ハ何ノ爲ニ設ケタカト云フヤウナ御不

可ヲ得タリ、色々手續ガ面倒デアルカラ、

普通ノ顧問ノヤウナモノナラ幾ラモアリト

思ヒマスケレドモ、サウ云フノハ殆ドナ

ト思ヒマスガ、事實アリマスカ

○高橋委員長 議事進行デ委員長ガ發言致

審モアルカト思ヒマスガ、辯護士ニシテ調

査委員ヲ兼ネテ居ル場合ニハ、此規定ニ當

ドモアリマス

○岡本委員 サウ云フ時ニハ辯護士會ノ許

可ヲ得タリ、色々手續ガ面倒デアルカラ、

普通ノ顧問ノヤウナモノナラ幾ラモアリト

思ヒマスケレドモ、サウ云フノハ殆ドナ

ト思ヒマスガ、事實アリマスカ

○大矢政府委員 辯護士會ノ許可ヲ得テ居

ルカドウカ私存ジマセヌケレドモ、事實アリマス

○高橋委員長 一寸申上ゲマスガ、只今ノ問題ハ重要ナ問題ダト思ヒマス、森田君ハ

時間ノ都合上言ヒ盡セナイノダラウト思ヒマスガ、所得稅或ハ營業收益稅ノ調査委員會ト云フモノハ、政府ガ考ヘラレルヤウナ正確ナモノデハアリマセヌ、而シテ此調査委員ナルモノノ素質モ種々雜多デアリマシテ、

稅務ニサウ明ルイ人ハ少イノデアリマス、

斯ウ云フコトヲ禁ジラレルニ至ルト、色々

ナ弊害モ却テ調査上ニ起ルコトデアリマシ

テ、又専門家ヲ委員ニシナケレバナラナイト云フヤウナ必要ガ隨分多クナルダラウト

思ヒマス、是等ノ問題ハ政府ニ於テモ能ク

御考究下サイマシテ、次ノ機會ニ恐ラクハ

他ノ委員諸君カラモ質問ガアルコトダラウ

ト思ヒマスカラ、十分御考置キマス、——岡本君

ノ適當ナ機會ニ於テ相當ノ意見ヲ開陳セラ

レルコトヲ希望シテ置キマス、——岡本君

ノ關聯質問ハソレデ宜シウゴザイマスカ

○岡本委員 言ヒ残シマシタカラ一言ダケ申上ゲマス、實ハ御承知ノ通り辯護士法ガ

改正ニナリマシテ、新シイ辯護士法デハ辯護士試補ト云フモノヲ一年半ヤラナケレバ

ナラヌ、其ノ試補ノ實習ノ中ニ、現ニ稅法

ニ付テノ科目ガ入ッテ居リマス、東京辯護士會デ現ニ八十何人ノ試補ヲ養成シテ、一年半試補ヲ勤メテ、ソレカラ試験ヲシテ辯護士ニナル、斯ウナツテ居リマスガ、此稅法ヲ

試補ノ實習科目ニマデ入レテ居ルノデス、サウ云フ所マデ進ンデ居ルト云フコトヲ御含ミヲ願ヒマシテ、是ハヤハリ辯護士ノ事務トサレナケレバイケマイト思ヒマスト云フコトヲ附言シテ置キマス

○森田委員 只今ノ問題ニ付テハ委員長カラモ政府當局ニ考慮ヲ促サレタ通リデアリ

マスカラ、私ハ是レ以上追究シマセヌガ、

兎モ角今ノヤウナ不便ナ事ニナルヤウニ仕

向ケテ行クトニ、吾々ハ俄ニ同意致シ兼

ネルノデアリマス、ソレカラ岡本委員ノ發言ニ彼此レ申上ゲルノデアリマセヌガ、私

ガ何カ辯護士ガ一般稅務ニ關スルコトニ付

テ知ラヌト言ツタ云フヤウニ仰シヤルガ、

タノデアリマスカラ、能ク一つ速記錄ヲ——

訂正モ何モ致シマセヌカラ能ク御覽ヲ願ヒ

マス、ソレカラ政府委員ニ伺ヒマスガ、此

個人ノ所得ナリ營業收益ノ決定ニ對シテハ、

銷却ヲ認メテナイ、個人ト雖モ或ハ營業所、

若クハ工場、諸機械、色々ナモノノ銷却ヲ

シナケレバイカヌ、個人ノ物ハ何年經テモ

磨滅モセズ、廢レモセヌト云フ譯ハナイ、個人ノ物デアラウト法人ノ物デアラウト、

個人ノ機械デアラウト法人ノ機械デアラウト、法人ノ所有スル船舶デアラウト個人ノ

所有スル船舶デアラウト、各、銷却ヲ認メ

堵、法人ノ所有スル船舶デアラウト個人ノ

堵ヘスヤウニナツテ來ルノデアリマスカラ、

此點ハ其銷却ヲ認メヌト云フノハ宜クナナイ

是ハ相當ニ認メ得ベキモノデヤナイカ、ソ

レハスウ云フ點ガアリマス、營業收益稅ノ

決定ニ對シテ、法人ト個人トデハ稅率ガ違

ヒマス、稅率ガ違フノハ、法人ノ方ハ總收

入金ヨリ總出金ヲ控除スルヤウニナツテ居

ル、個人ノ方ハ收入金カラ必要ナ經費ヲ引

クトカ、其他ノ家族ノ働イタモノハ一切引

ケヌコトニナツテ居ルト云フヤウナ關係デ、

稅率ヲ下ゲテアルコトハ認メテ居リマス、

併ナガラ此銷却ヲ認メヌト云フノハ、此稅

率ノ達フコトヲ一點張リニシテ銷却ヲ認メ

スト、却テ法人ヨリ高ク取ラレルヤウナコ

トニナリマス、況シテ所得稅ハ綜合所得デ

アルカラ、法人ヨリハ餘分ニ納メルノデア

ルガ至當デアルト思フガ如何、斯ウ云フ質

問デアリマス

問ニ對シテ御答致シテ置キマシタガ、理論トシテハ洵ニ仰セノ通リデアリマス、唯現狀ニ於キマシテ個人ノ營業者ノ大部分ハ、

帳簿組織モ不完全デアリ、隨テ前期カラ繰

越シテ來テ居ル所ノ機械其他ノ諸設備ノ帳

簿價格ト云フモノモ頗ル不明瞭デゴザイマシテ、全體トシテ法人ノ場合ト同ジヤウニ減價銷却ヲ認メテ行クト云フコトハ、現狀ニ於キマシテハ實行ガ困難ダト存ジマス、

唯減價シタ事實ガ極ク顯著ナモノデアリマシテ、而モ帳簿其他ニ依リマシテ銷却ノ事

實ガハッキリ分ルモノニ付キマシテハ、個人ニ於テモ或ル程度ハ認メル扱ヒニナツテ居ル

苦デアリマシテ、將來出來ルダケ御趣旨ニ於キマシテハ前ニモ申上ゲタ通リデゴザ

イマシテ、之ヲ法人ト同ジヤウナ風ニ扱フノハドウモ實行困難カト存ジテ居リマス

トヲ私モ聞イテ居リマシタ、ソレデハイカラ私ハ再ビ質問ヲスル譯デアリマスガ、

ナゼナラバ帳簿ガ備ッテ居ナツテ、前期ノ繰

越ガ分ラヌト云フヤウナ意味ノモノニ付テ

ハ拒ムト仰シヤツタガ、ソレハ私モ同感デア

ル、個人ノ家ト雖モヤハリ簿記帳ヲ備ヘテ

完全ニヤッテ居ル家モ相當アリマス、相當ナ  
建物トカ、工場トカ、船舶トカ機械器具ト  
云フモノヲ銷却シヨウト云フモノハ、貸借  
對照表モ作り、資產表モ作ッテ居ル、ソレハ  
完全ニ出來テ居ルカラ一向差支ヘナイ、差  
支ナイカラ其銷却ヲ認メレバ宜イ、法人ト  
個人トノ違ヒハ認メル必要モナイ、個人ト  
法人トノ銷却率ヲ變ヘル必要ハ私ハナイト  
思フ、個人モ法人モ同等ニ其銷却ヲ認メル、  
或ル程度ト主稅局長サンガ仰シヤルガ、或  
認メテ貰ハナケレバイカント思フ、但シア  
ナタノ仰シヤルヤウニ、帳簿ノ不完全ナモ  
ノニ付テハ吾々モ何トモソレハ申シ兼ネ  
ル、併ナガラハッキリシテ居ルモノハヤハリ  
ヤルベキモノデハナイカト云フコト、ソレ  
ガ一點、詰リ個人モ法人ト同等ニ御認メニ  
ナラレタイト云フノデアリマス

今一點ハ銷却率ノ問題、是ガ一定シテ居  
ナイ、銷却率ハ一向一定シテ居ナイ、而モ  
大藏省ノ銷却ノ標準ト云フモノハ低過ギ  
ル、今日ドンナ機械デモ大藏省ガ言フヤウ  
ニ長年——ソレハ法人ト個人トヲ問ヒマサ  
ヌガ、木造建ノモノ、鐵筋「コンクリート」  
建ノモノ、或ハ機械、工具、船舶ト云フヤ  
ウナモノノ銷却年限ガ長過ギル、船舶ノ如  
キモノモ二十五年ト云フヤウナコトニナツ  
テ居ルト思フガ、「タンカー」船ガ二十年、  
他ノ貨物船ガ二十五年、客船ハ十五年ト云  
フヤウニ私ハ記憶スル、サウ云フ風ニ長ク  
持テルダラウカ、私ハ逆モサウ云フヤウナ  
長年ノ銷却ヲスルコトハ出來ナイト思フ、  
ラ、工場ノ機械デモ、マダ機械トシテノ能  
力ハアルガ、ソレデハ他ノ會社ト生產競争  
ヲスルコトガ出來ナイカラ取替ヘテ居ル  
デヤアリマセヌカ、使ヘル機械デ銷却ハセ  
ヌデモ、取替ヘヌト時勢ニ遅レテ行ッテ、他  
ノ會社ト競爭ガ出來ヌカラ、サウ云フ風ニ  
シテ居ル、デアルカラシテアノ銷却年限ト  
云フモノヲ相當短縮スル考ガアルカナイ  
カ、相當短縮シテ行ッテ銷却シテシマヘバ宜  
イデヤアリマセヌカ、銷却シテシマヘバ次  
カラ銷却スルモノガナクナルカラ、利益ハ  
所ガナクテ、比較的堅實ナ會社ガ寧ロ負擔  
ガ輕クナルト云フヤウナ狀況デアリマシ  
テ、斯ル際ニ此銷却歩合ヲ變更スルノハ、  
法人全體ノ負擔ノ權衡カラ致シマシテモ如  
何デアラウカ、モウ少シ今後ノ情勢ノ推移  
ヲ見テカラ考慮シタイ、斯ウ思ッテ其儘ニ  
ナッテ來タノデゴザイマスガ、コ、數年間經  
濟界モ漸次繁榮ニ向ツテ來マシテ、各會社モ  
内容ガ充實シテ來ル、隨テ銷却モ多クシテ  
來ルヤウニナツテ參ッタノデゴザイマス、殊  
ノデ、國家ハヨリ以上ノ稅收入ガアルコト

ニナル、年限ヲ短縮シテ時勢ニ相應シタ銷  
却年限ヲ立テル考ハ御有リニナリマセヌ  
カ、此二ツノ問題ヲ伺ヒマス  
○大矢政府委員 銷却ニ付キマシテハ、ヤ  
ハリ前ニ宇賀サンニ御答シテ置イタノデア  
リマスガ、大正八九年ノ頃ニ大體統一致シ  
マシタガ、其後經濟界ガ不況デアッタ點モ大  
イニ影響致シマシテ、稅務署ノ内規ホドノ  
銷却ヲシテ來ル會社ガ少カッタノデアリマ  
ス、中ニハ其内規ヲ超過シテ銷却シテ來ル  
モノモゴザイマシタガ、是ハ極ク一流ノ、  
内容ノ堅實ナル會社デゴザイマシタ、隨テ  
其當時ニ於キマシテ銷却率ト申シマスカ、  
モノモゴザイマシタガ、是ハ極ク一流ノ、  
内容ノ堅實ナル會社ニ對シテハ何等影響スル  
ハナイ方面ノ會社ニ對シテハ何等影響スル  
カ、相當短縮シテ行ッテ銷却シテシマヘバ宜  
イデヤアリマセヌカ、銷却シテシマヘバ次  
カラ銷却スルモノガナクナルカラ、利益ハ  
所ガナクテ、比較的堅實ナ會社ガ寧ロ負擔  
ガ輕クナルト云フヤウナ狀況デアリマシ  
テ、斯ル際ニ此銷却歩合ヲ變更スルノハ、  
ノコトヲ補足シテ申上ゲマス、個人ノ機械  
器具ノ銷却ノコトデゴザイマス、是モ森田  
サンノ御說洵ニ御尤ノ點ガゴザイマスガ、  
先程モ申上ゲマシタヤウニ、個人ハ金體ヲ  
通ジテ見マスルト、大體帳簿設備モ完備致  
シテ居ナイ、隨テ年々ドレダケ銷却スルカ  
ト云フコトヲ認定スルノハ非常ニ困難デゴ  
ザイマス、大規模ナル組織ノモノニ付キマ  
シテハ、其一部ニ付テハ森田サンノ仰セノ  
通リ明瞭ニ分ルモノガアリマス、併シ其モ  
ノダケヲ他ノモノト切離シテ特ニ銷却ヲ認

税ノ負擔モ相當重クナツテ參リマシタノデ、  
之ヲ機會ト致シマシテ、從來十數年其儘据  
置ニシテ居タ此銷却率ニモ再検討ヲ加ヘマ  
シテ、或ル程度此銷却範圍ヲ擴張シマシ  
テ、實情ニ副フヤウニ致シマシタ、尙ホ最  
近時局關係デ大イニ新規設備ヲ擴張シテ行  
ク方面ニ於キマシテハ、更ニモウ一層ノ考  
慮ヲ加ヘテ見タイト云フコトハ大臣モ申サ  
レテ居タ所デゴザイマシテ、折角今考究中  
モノモゴザイマシタガ、是ハ極ク一流ノ、  
内容ノ堅實ナル會社ニ對シテハ何等影響スル  
ハナイ方面ノ會社ニ對シテハ何等影響スル  
カ、相當短縮シテ行ッテ銷却シテシマヘバ宜  
イデヤアリマセヌカ、銷却シテシマヘバ次  
カラ銷却スルモノガナクナルカラ、利益ハ  
所ガナクテ、比較的堅實ナ會社ガ寧ロ負擔  
ガ輕クナルト云フヤウナ狀況デアリマシ  
テ、斯ル際ニ此銷却歩合ヲ變更スルノハ、  
ノコトヲ補足シテ申上ゲマス、個人ノ機械  
器具ノ銷却ノコトデゴザイマス、是モ森田  
サンノ御說洵ニ御尤ノ點ガゴザイマスガ、  
先程モ申上ゲマシタヤウニ、個人ハ金體ヲ  
通ジテ見マスルト、大體帳簿設備モ完備致  
シテ居ナイ、隨テ年々ドレダケ銷却スルカ  
ト云フコトヲ認定スルノハ非常ニ困難デゴ  
ザイマス、大規模ナル組織ノモノニ付キマ  
シテハ、其一部ニ付テハ森田サンノ仰セノ  
通リ明瞭ニ分ルモノガアリマス、併シ其モ  
ノダケヲ他ノモノト切離シテ特ニ銷却ヲ認

メテ行クト云フコトモ、個人營業者ノ全部ヲ  
通ジテノ負擔ノ關係カラ見マシテ如何カト  
思ハレル點モゴザイマス、ソレデハ法人ト  
個人ハ權衡ヲ得ナイデハナイカト云フ仰セ  
モ御尤デゴザイマスルガ、是ハ必シモ其點  
バカリデハアリマセヌケレドモ、多少法人  
ト個人ニ於テハ稅率ノ差異モゴザイマシテ、  
幾分其邊モ緩和サレル點ガアルカト思ヒマ  
スガ、是ハ尙ホ將來考究シテ見タイト存ジ

○森田委員 イヤ考究ハ宜イノデス、ドウ  
ゾ御 ユックリ考究ヲ願ヒマスガ、現在若クハ

掛ルカト思ヒマスカラ、暫ク御待チヲ願ヒ  
タイト思ヒマス

シテ居ルノデスガ、個人ノ減價銷却ヲ認メ

改正セラレタ所ノ標準ノ表ヲ出シテ戴キタ  
イ、木造ノ建物ハ何年デアッタモノヲ何年デ  
スルヤウニ改正シタ、此機械ハ何年デアッタ

○高橋委員長 勝君ニ、只今ノ減價銷却ノ問題ニ關聯シマシテ、此場合發言ヲ許シマス

者カラ所得稅ヲ取ルト云フコトニナルノデ  
アルカラ、此減價銷却ハ範圍ヲ廣クシテ合  
理的ニナサルガ宜イデハナイカト云フコト

モノヲ何年デスルヤウニヤッタト云フ表ヲ  
出シテ戴キタイ

○勝委員 減價銷却ノ問題デ私モ質問ヲシ  
ヨウト考ヘテ居ツタ所、丁度森田サンノ話ガ

ヲ、絶エズ主税當局ニ御勸告申上ゲテ居ル、  
所ガ私ガ態、此公ノ席上デ御尋スルノヘ、個

○大矢政府委員 是ハ宇賀サンノ御質問ノ際ニ、實ハ私共ノ取扱ノ内規トシテ從來公表シテ居ナカッタ、ソレカラ各會社ニ於キマ

出マシタカラ、時間ヲ省略スル爲ニ一口御  
許シヲ願ヒマス、個人ノ減價銷却ノコトデ  
スガ、是ハ元ト極ク顯著ナルモノダケハ滅

人ノ減價銷却ト云フモノガ法律ノ立前デ出來ナイト云フ議論ヲスル者ガ此頃ボツ／＼出來テ來タ、ソレハ何故カト言ヘバ、法人

デアルカラシテ、此銷却ハ同等ニ認メテ行  
カヌト公平デナリ、ソレデ改正ナサッタト云  
フコトデアリマスカラ、此委員會ヘ成ベク  
早ク今ノ銷却スルモノノ種類毎ニ年限ヲ加  
ヘタ表ヲ一ツ御出シ願ヒタイト存ジマス、  
ソレニ依ツテ又御相談スルコトニシテ、私ハ  
至急ニ、何ヲ何年デ銷却スルト云フコトニ  
改正シタト云フ其表ヲ、法人ノモ個人ノモ  
急イヂ御提出ヲ願ヒタイ

東スル趣旨デハゴザイマセヌノデ、之ヲ發表スルコトハ暫ク考ヘサシテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置イタノデゴザイマセスガ、重ネテ森田委員カラノ御要求デゴザイマシテ、私共決シテ之ヲ祕密ニシナケレバナラヌト云フ性質モノデハゴザイマセヌノデ、宇賀委員ニ對シテハ左様御答致シテ置キマシタケレドモ、考ヘ直シマシテ、是

獲ル魚網ガ非常ニ壽命ガ短イノデ、三年間  
デ減價銷却ヲヤッタト云、フヤウナコトガ手  
初メニナツテ、ボツ／＼アリマシタガ、其後  
自動車が出テ來テ、是ガ比較的壽命ガ短イカ  
カラ、相當減價銷却ヲヤラナイト商賣ガ成  
リ立タナイト云フノデ、此頃デハ慥カ個人  
ノ自動車營業ノ場合ニハ減價銷却ヲ事實ト云  
シテ認メテヤッテ居ル、一體私ハ所得稅ト云  
フノハ所得ノアル人カラ稅ヲ取ルベキモノ

ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル金額トアツ、減價銷却ト云フノハ經費ノ觀念ニ入リマセカラ、經費ダケシカ引カヌノガ原則デアツテ、今マデ便宜扱ッテヤツタノハ、謂ハゞ恩惠的ニ扱ッテ居ッタダケデアル、法律上出來ナイコトヲ特ニ恩惠的ニヤツテ居ッタノデアルト云フヤウナ解釋ガ出テ來タ、若シソソナルコトヲ仰シヤレバ、吾々ハ之ヲ直サナケナコトヲ仰シヤレバ、吾々ハ之ヲ直サナケ

○大矢政府委員 是カラ十分考究シテ見タ  
イト云フコトヲ申上ゲタノデゴザイマス

ハ提出致シマス、唯相當廣範囲ノモノテ

デアリ、所得ノ無イ人ガテ所得税ヲ取ルヤ

陰森田サント御相談シテ立直シテヤラナケレバナラヌノデアルガ、是ハドウ御解釋ニ

ナルカ、法律デ行ケルノデアルカ、行ケナ  
イノデアルカト云フコトヲハッキリ伺ヒマス

○大矢政府委員 私共ノ大先輩トシテ平素

非常ニ敬意ヲ表シテ居リマス勝サンカラ、  
斯ウ云フ問題ニ付テ御尋ヲ受ケマシテ、洵

ニ恐縮ニ存ジテ居ル次第アリマス、營業  
収益稅法ノ第六條ニ「個人ノ純益ハ前年中

ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル  
金額ニ依ル」トアリマシテ、此必要ノ經費

ノ中ニハ機械、器具ノ銷却ト云フモノガ入  
ルカドウカト云フコトハ、從來多少疑問ニ

シテ居タヤウデゴザイマス、併シ御話ノ通  
リ北海道ノ鱸網トカ、或ハ自動車運送業等

ニ關シマシテハ、今日マデ或ル程度認メテ  
來テ居ルノデゴザイマシテ、現行法ノ下ニ

於テ是ハ必要ノ經費デハナイト云フ斷定モ  
下シ得ナイカト思ヒマス、尙ホ將來ノ扱ヒ

ノ問題ニ付キマシテハ、先程申上ゲタ通り  
十分考究シテ、成ベク實情ニ副フヤウニ致  
シタイト存ジテ居リマス

○勝委員 重ネテ確メテ置キマスガ、ソレ  
デハ必要ノ經費ト云フ中ニ觀念上減價銷却

ハ含ムト政府ハ御解釋ニナルカナリマセヌ  
カ、扱ヒハ扱ヒトシテ、法文ノ解釋ヘドウ

御解釋ニナルカト云フコトヲハッキリ速記

錄ニ殘シテ置キタイト思ヒマス

○大矢政府委員 含ムモノト思ヒマス

ト思ヒマス、昨夜大臣ニ御尋シテ、入場稅

ハ申告ニ依ツテ取ルト仰シヤツタガ、サウス

ルト例ノ地方廳ガヤツテ居ル請負ノ形式ニ  
ナリハシナイカ、申告ニ依ツテ取ルト云フ

ト、ソレニ駆引ガ出來ルコトニナル、通行  
稅ノ方ハ簡單ニ入ルシ、間違ヒナイモノト

思フガ、昨晩ノ大臣ノ御話ノ申告ニ依ツテ取  
ルト云フコトニナレバ、是ハ下手ナ申告ヲ

スル者ト上手ナ申告ヲスル者トデ等差ガ出  
來テ來ルト思フガ、徵稅方法ニハッキリシタ

見極メガ付イテ居リマセヌカ、公平ニ徵稅

ガ申告ヲ認メレバ宜イガ、認メズニ又認定

稅ニシテ行カレルト、此認定ガ實際トカッチ

リ合フ認定ナラバ宜シイガ、是ハ到底不可

能ナコトデアルカラ、人ニ依ツテ多ク納メル  
者モ出來レバ、然ラザル者ハ少ク納メルヤ

ウニナルカラ、實際ニ依ル方法ヲ研究セラ  
レタイ、實際ニ入場シタ人員ニ依ツテ課稅ヲ

スルコトノ正確ナ方法ヲ研究シテ、申告ニ  
シテ押合ヒ寄合ヒガナイヤウニ、認定ニ

依ラナイヤウニ——通行稅ハ申告セヌデモ  
是ハハッキリ確實ニ入ッテ來ルヤウニ思ハレ  
ルガ、此入場稅ニ付テハ、結局請負稅ニス

ルヨリ外ニ途ガナイノデハナイカト思ヘレ  
ル、結局非常ニゴタ／＼シテ、今地方ガヤツ

テ居ルヤウニ豫算ノ範圍デ請負稅ニシナケ  
ル、ソレニ對シテ、

譯デハゴザイマセヌデ、帳簿ノ記帳義務モ規  
定シテ居リマス、稅務官吏ガ行ツテ其帳簿檢

査ヲスルト云フ權限モ與ヘラレテ居リマス  
ノデ、若シモ虛偽ノ拂込、不正ノ記帳ト云

カ、扱ヒハ扱ヒトシテ、法文ノ解釋ヘドウ

御解釋ニナルカト云フコトヲハッキリ速記

テハ又制裁規定マデモ設ケテ居ルヤウナ次  
イ、ソレデナケレバ何カ稅額ニ不公平ノナ

イヤウニスルコトヲ一層考慮研究セラレテ、  
シタル課稅ヲヤツテ行ク積リデアリマス

セヌケレドモ、國稅トシテハ實際事實ニ即  
話ノヤウナ所モナイトハ限ラヌカモ知レマ

ス、此點ヲ一ツ大藏當局デ御考慮願ヒタイト思  
フノハ、私ハヤハリ申告ニ依ツテヤルト、今

ノ營業収益稅ヤ所得稅ミタニニ、稅務當局  
ガ申告ヲ認メレバ宜イガ、認メズニ又認定

稅ニシテ行カレルト、此認定ガ實際トカッチ

能ナコトデアルカラ、人ニ依ツテ多ク納メル  
者モ出來レバ、然ラザル者ハ少ク納メルヤ

ウニナルカラ、實際ニ依ル方法ヲ研究セラ  
レタイ、實際ニ入場シタ人員ニ依ツテ課稅ヲ

スルコトノ正確ナ方法ヲ研究シテ、申告ニ  
シテ押合ヒ寄合ヒガナイヤウニ、認定ニ

依ラナイヤウニ——通行稅ハ申告セヌデモ  
是ハハッキリ確實ニ入ッテ來ルヤウニ思ハレ  
ルガ、此入場稅ニ付テハ、結局請負稅ニス

ルヨリ外ニ途ガナイノデハナイカト思ヘレ  
ル、結局非常ニゴタ／＼シテ、今地方ガヤツ

テ居ルヤウニ豫算ノ範圍デ請負稅ニシナケ  
ル、ソレニ對シテ、

譯デハゴザイマセヌデ、帳簿ノ記帳義務モ規  
定シテ居リマス、稅務官吏ガ行ツテ其帳簿檢

査ヲスルト云フ權限モ與ヘラレテ居リマス  
ノデ、若シモ虛偽ノ拂込、不正ノ記帳ト云

カ、扱ヒハ扱ヒトシテ、法文ノ解釋ヘドウ

御解釋ニナルカト云フコトヲハッキリ速記

○大矢政府委員 入場稅ノ徵收ニ付キマシ

テハ、國稅ニ於テ請負ノ制度ヲ致ス積リハ

ゴザイマセヌ、其徵收ニ當リマシテハ、色  
色仰セノヤウナ點モゴザイマスガ、切符ノ  
賣却トカ、或ハ劇場ナラバ時々行ッテ實際ノ  
入場者ノ狀況ヲ見ルトカ、サウ云フ方面デ  
相當適實ナル監督モ出來ルカト存ジテ居リ  
マス、施行ニ際シテハ十分周到ナ注意ヲ拂ヒ  
マシテ、完璧ヲ期シタイト存ジテ居リマス  
尙ホ利益配當特別稅ニ付テノ御尋ニゴ  
ザイマスガ、是ハ法人ノ負擔スル稅デハゴ  
ザイマセヌデ、其配當ヲ受クル個人ノ負擔  
スル稅デゴザイマス、隨ヒマシテ北支事件  
特別稅法ノ第十九條ニハ「利益配當特別稅  
ヲ課セラル、利益ノ配當又ハ公債及社債利  
子特別稅ヲ課セラル、公債又ハ社債ノ利子  
ニ付所得稅(第一種所得稅ヲ除ク)又ハ資本  
利子稅ヲ課スル場合ニ於テハ其ノ利益配當金  
額又ハ利子金額ヨリ利益配當特別稅又ハ公  
債及社債利子特別稅相當額ヲ控除シタル殘  
額ヲ以テ其ノ配當金額又ハ利子金額ト看做  
ス」斯ウ云フ規定ガゴザイマスノデ、配當ノ  
受領者ニ對シマシテハ、此特別稅ヲ控除シ  
タ残額ヲ配當金ト見テ、第三種所得稅ヲ課  
稅シテ居ル次第ゴザイマス、ソレデ法人  
ハ唯此利益配當特別稅ヲ徵收シテ納付スル  
義務ヲ負ウテ居ルダケナノデアリマス、隨  
テ法人ガ此利益配當特別稅ヲ徵收セズシテ

個人ニ支拂ツタ場合ニハ、法律上ドウナルカ  
ト云フニ、ソレハ利益配當特別稅ニ相當ス  
ル部分ハ配當金デハゴザイマセヌ、法人ガ  
此利益配當特別稅ヲ政府ニ納付シタ場合ニ  
ハ、ソレニ相當スル金額ヲ其個人ノ方カラ  
徵收スレバソレデ片ガ付ク問題カト存ジマ  
ス、個人ノ方ニ對シテ此利益配當特別稅ヲ  
控除セズシテ受取タカラ、其ノ全額ヲ利益  
配當トシテ課稅スルト云フコトハ、今讀上げ  
マシタ條文ニ紙觸シテ來ルノデアリマス、  
ソレカラ尙ホ配當金ノ受領者ノ中ニハ、第  
二種所得稅ノ免稅ヲ受ケル者モアルト思ヒ  
マス、ソレハ公益法人ト云フヤウナモノデ  
オヤリニナリマスカ  
○大矢政府委員 是ハ普通ノ法人ニ於キマ  
シテハ、利益配當ヲ致シマス場合ニハ、此利  
益配當特別稅ハ課稅出來ナイノデゴザイマ  
シテ、隨テ人ガ若シモ此利益配當特別稅  
ヲ徵收セズシテ配當シタ致シマスレバ、  
沟ニ妙ナコトニナリマシテ、株主平等ノ原  
則ニ反スルト云フヤウナコトニナリハシマ  
イカ、ソレガ全額配當タト致シマスレバ、  
マス、但シ若シモサウ云フコトナシニ、此  
稅相當額ヲ控除セズシテ配當シタ場合ニ於  
キマシテハ、稅務署ニ於テハ此稅ニ相當ス  
ル金額ダケハ配當金ノ中カラ控除シテ課稅  
ニ付キマシテハ、別ニ主稅局カラ一般的ニ  
分カラ取扱テ居リマス、此六百圓ト云フ額  
百圓程度カラ、課稅スルヤウニ昭和十二年  
ニ付キマシテハ、別ニ主稅局カラ一般的ニ  
通牒ヲシテアル譯デハゴザイマセヌ、尤モ  
主稅局ニ於テ大體全國ノ統一ハ取ツテ居ル  
ノデゴザイマスガ、各監督局ガ通牒デ定メ

替ヘテ納メマシテモ、之ヲ其法人ノ損金ト  
見ル譯ニハ行カナイカト思ヒマス  
○森田委員 サウスレバ、其點ハ法人ノ方  
デ支出ト認メラレナイ、法ノ立前カラ總支  
出金ノ内ニ加ヘルベキ性質ノモノデハナ  
イ、第三種所得稅ハ今ノ稅金ヲ引イタモノ  
ニ課ケルト言フ、ソレハ引イタモノニ課ケ  
レバ宜イガ、届ケル方ハ自分ハ一株一圓ダ  
カラ引カレナカッタカラ宜イ、十株持ツテ居  
マシタ條文ニ紙觸シテ來ルノデアリマス、  
レバ十圓デ引カレル、政府デハソレヲ稅金  
ヲ調査シテ引キマスカ、甚々面倒デスガ、  
オヤリニナリマスカ  
○大矢政府委員 致シマス

○森田委員 ヤラレルサウデスカラソレデ  
結構デス、ソレデハ或ハ關聯シテ御尋スル  
コトガアルカモ知レマセヌガ、是デ私ノ質  
問ハ一應打切ツテ置キマス  
○松隈政府委員 先程東條サンノ御尋ノア  
リマシタ府縣會議員、市町村會議員等ノ費用  
辨償ニ對シマシテハ、一定金額以上ハ所得  
稅法第十四條第六號ノ所得トシテ課稅スル  
コトヲ申上げタノデアリマスガ、其際一定  
金額ニ付テハ、取調ベタ上御答スルコトニ  
留保シテゴザイマシタカラ、此際答辯ヲ補  
足致シテ置キマス、費用辨償トシマシテ年  
額又ハ月額ヲ以テ支給セラレマスモノニ付  
キマシテハ、大體年額ヲ以テ押ヘマシテ、六  
百圓程度カラ、課稅スルヤウニ昭和十二年  
ニ付キマシテハ、別ニ主稅局カラ一般的ニ  
通牒ヲシテアル譯デハゴザイマセヌ、尤モ  
主稅局ニ於テ大體全國ノ統一ハ取ツテ居ル  
ノデゴザイマスガ、各監督局ガ通牒デ定メ

テ居ルヤウナ次第デアリマス

○森田委員 私ハ先刻打切ッタガ、太田サン

ノ顔ヲ見テ思ヒ出シタカラ一寸御尋シマス、不

開港デアリマス字品ノ特許料ハ屢々陳情シテ

免除セラレル筈デスガ、未ダ實行シテ來ヌノ

デスガ、ドウ云フコトニナッテ居ルノデスカ

○太田政府委員 私ハ元アツチノ方ヲ能ク

知ッテ居ッタノデスガ、此間森田サンカラモ

御要求ガアリマシテ、調べサセテ居ルノデ

スガ、マダ返事ガ來テ居リマセヌノデ、此

次ニハチヤント御返事ヲ申上ゲルヤウ致シ

マス、御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

○東條委員 今ノ松隈サンノ、御答辯デス

ガ、六百圓以上ノモノニ對シテ其七掛ヲ所

得ニ見テ居ラレルノデスカ

○松隈政府委員 仰セノ通りデゴザイマシ

テ、費用ノ分ラナイモノニ付テハ大體七掛

ヲ所得ト見テ居リマスガ、若シ本人ノ方ニ

於テ是レーノ費用ガ掛ッタ云フコトデ、

費用ノ取調ガ出來マシテハッキリ致シマス

レバ、其ノ實際ノ經費ヲ引イタ残ニ課稅シ

テ居ルト云フ實情デゴザイマス

○高橋委員長 一寸皆サンニ御諮詢スルコ

トガアリマス、理事野中徹也君ガ辭任サレ

マシタノデ、其補缺トシテ先例ニ依リマシ

テ委員長ヨリ指名致シタイト思ヒマスガ、

如何デゴザイマスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○高橋委員長 御異議ナシト認メテ玉野知

義君ヲ指名致シマス、ドウゾ宜シク願ヒマ

レタノデアリマスガ、兵役ヲ免除サレタ代

ス——尙ホ午後ハ一時半ニ開會致シタイト

思ヒマスガ、本會議ニ於テ重要ナル決議案

ガ出ルコトニナリマスレバ、ソレノ終了マ

デハ延バサナケレバナラナイト思ヒマス、

又農地調整法案ガ上程ニナリマスレバ、其

決議等ノ場合ニ全員ガ入場スルコトガ必要

ト思ヒマスカラ、サウ云フ場合ニ暫時休憩

スルコトニナルカモ知レマセヌカラ、其邊

御含ミ置ヲ御願致シマス、午前中ノ會議ハ

是デ閉ヂマス

午後零時三十五分休憩

午後一時五十七分開議

○高橋委員長 是ヨリ開會致シマス——水

谷君

○水谷委員 私ハ簡單ニ陸軍當局ノ御意見

ヲ伺ッテ置キタイ問題ガアルノデアリマス、

大體此委員會ニ於キマシテ此度ノ事變ニ於

ケル財源ノ一ツト致シマシテ、兵役稅ト云

フ言葉デ現ハシマスカ、或ハ國防稅、兵役

免除稅ト云フヤウナ言葉デ現ハスノガ至當

カドウカ知リマセヌガ、サウ云フ稅ヲバ兵

役免除者カラ取ッテヤル方ガ宜イダラウト

云フ意見ガアッタノデアリマス、ソレニ對ス

ル大藏當局ノ答辯ヘ、其處ニ居ラレル太田

アリマス、勿論私ハ此度ノ斯ウ云フヤウナ

事變ニ於キマシテ、國民ガ一致舉ツテ精神

的總動員ニ動員サレル必要ハアルノデアリ

マスガ、ソレト同時ニヤハリ經濟的ニモ國民

ヲ總動員シナクテハナラナイト思ヒマス、

ソレニ關シマシテ此度色々ナ稅金ノ增收、

其他新稅ノ新設ト云フモノガアッタノデアリ

マスガ、斯ウ云フ事變ノ場合ニ於キマシテ、國

防稅ト云フヤウナ、ハッキリシタ國防ニ關ス

コトデ、結局此際陸軍當局ノ御意向ヲ聞ク

併シ何レニシテモ陸軍當局ト關係ノアルコ

トデアルカラ、能ク相談シテ見ヨウト云フ

方ガ適切デアルト思ッテ、態來テ戴イタヤ

コトデ、大藏大臣ト問答シタノデゴザイマスガ、

メルト云フコトナラバ、是ハ非常ニ語弊ガ

アラウト思ヒマス、日本ノ從來ノ立派ナ傳

統の精神カラ申シマシテ、排斥スペキ考

ヘ方デアラウト思フノデゴザイマスガ、日

本國民一般ニ人頭的ニ、國防稅ト云フ輕度

兵役ヲ免除サレタガ爲ニ、其代償トシテ納

メルト云フコトナラバ、是ハ非常ニ語弊ガ

アラウト思ヒマス、日本ノ從來ノ立派ナ傳

統の精神カラ申シマシテ、排斥スペキ考

テ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ稅ニ關シ

マシテ陸軍當局ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ、此點ヲハッキリト御伺シタイト思フノデアリマス

○町尻政府委員 只今水谷委員ヨリ御質問

ノ點ニ御答ヲ致シマスガ、此問題ハズツト以

前ヨリ相當ニ陸軍ト致シマシテモ、慎重ニ

研究審議ヲ致シマシテ、只今ノ所ハ次ノヤ

ウナ結論ノ下ニ當分實施ヘセヌ、シタクナ

イト云フ考デ居リマス、其理由ハ只今御話

ガ一寸ゴザイマシタ如ク、我國ニ於キマス  
ル兵役義務ト云フモノハ、飽マデモ崇高ナ  
ル犠牲的ノ奉仕ト云フ觀念ニ出發ラシテ、  
毫末モ金錢ヲ以テ之ヲ代償スルト云フヤウ  
ナ思想ノ混入ハ之ヲ許サヌト云フ主觀的觀  
點カラ致シマシテ、動モスルト只今ノ御話  
ノ全般的ニ人頭稅ノヤウナモノヲ課シテ、  
除外例トシテ義務ニ服シタ者ダケヲ除クト  
云フコトガ、見方ニ依ッテハサウ取レズニ反  
對ニ見ラレルト思フノデアリマス、サウ云  
フ風ニ見ラレタ時ニヘ、軍ノ昔カラ執ツテ來  
テ居リマスル兵役義務ノ崇高ナル意義ヲ沒  
却スル虞ガ多大ニアリマスノデ、主義上此  
問題ハサウ云フ觀點カラ致シマシテ、金錢  
的納稅義務ガ兵役義務ノ代償トナルガ如キ  
觀ラ呈シマスル本稅ノ問題ハ、同意致シ兼  
ネルト云フコトガ主ナル理由デゴザイマス、尙  
ホ其外ニ之ヲ實際實施致シマスルノニ、擔稅  
力ノ大小、殊ニ兵役ノ義務ニ服シマスル國  
民大衆ニ、比較的擔稅力ノ乏シキ階級ノ方ガ  
實際問題トシテ非常ニ多クアラレル關係上、  
ソレヲ無理ニ強ヒルト云フコトハ、非常  
ニ精神的ニ私ハ惡イ結果ヲ及ボスノデハナ  
カラウカ、寧ロ強制ヲサレテ稅ヲ出スト云  
フコトヨリモ、サウ云フ意義ナラバ、奮ッテ  
自發的ニ只今事變中ニ現レテ居リマスルヤ

ウナ獻金或ハ奉仕ト云フヤウナ形式デ現ハ  
レルコトガ、ヨリ我國體ニ副フモノデア  
ル、斯ウ感ゼラレマス、今一ツヘ將來ノ軍  
ノ狀態ヲ考ヘマスルト、御承知ノ如ク北支  
事變ノ終結後ニ於キマシテ、相當兵員ノ徵集  
ノ數ガ增加セネバナラヌト思ヒマス、即チ  
國民皆兵ト云フ本當ノ主義ニ一步近ヅキ得  
ル形ニナルト考ヘルノデアリマス、サウ云  
フヤウナ各種ノ觀點カラ考ヘマシテ、今ノ  
只今ノ所、軍トシテハマダヤラヌ方ガ宜カ  
ラウト云フコトニ結論ヅケラレテ居ルノデ  
ゴザイマスガ、尙ホ御趣旨ノ點ヘ能ク諒承  
致シマシテ、此上トモ研究ハ十分致シタイ  
ト考ヘマス

○水谷委員 大體陸軍當局ノ御趣旨ハ能ク  
分ツタノデアリマスガ、御言葉ヲ返スヤウ  
デアリマスガ、今ハゴザイマセヌガ、從來  
感ジテ居リマス

其趣旨ハ只今申上ゲマシタ趣旨カラ、前ノ餘  
リ正シカラヌ所ヲ直サレタト云フ風ニ私共  
ノ各種ノ理由モゴザイマスガ、一般兵ト同  
様ニ全ク同ジ期間、同ジ教育ヲスルト云フ  
風ニシテ、二年在營制ニシタノデアリマス、  
構ダト思ヒマス、只今ノ所謂國防稅ノ御說  
明ト、一年志願兵廢止ノ趣旨ガ合スルト思  
フノデアリマス、此際陸軍當局ニ一ツ御考  
ヲ最近オ止メニナッタノモソレト同ジ趣旨  
デスカ、ソレヲオ止メニナッタ趣旨ト、從來  
ハリ長期戰トカ云フヤウナ場合ニ於キマシ  
テハ、單ニ主觀的ナ精神的ナ總動員ダケデ  
モ必要デアラウト思ヒマス、況シテ斯ウ云  
フ事變ノ場合ニ於キマシテ、色々軍費ガ要  
ル場合ニ、或ハ酒ノ稅金ガ上ルトカ、煙草ノ  
値段ガ上ルトカ云フヤウナ場合ニ於キマシ  
テモ、吾々ハ酒ヲ飲ンデモ酒ハ高クナッタト  
云フコトダケラ考ヘルダケデアッテ、何故ニ  
ヤウナ人頭稅的稅率ヲ課スルト云フ點ハ、  
只今ノ所、軍トシテハマダヤラヌ方ガ宜カ  
ラウト云フコトニ結論ヅケラレテ居ルノデ  
テヲ律スルト云フ工合ニナリマシタ、殊ニ  
ゴザイマスガ、尙ホ御趣旨ノ點ヘ能ク諒承  
致シマシテ、此上トモ研究ハ十分致シタイ  
ト考ヘマス

○水谷委員 サウ云フ趣旨ナレバ非常ニ結  
構ダト思ヒマス、只今ノ所謂國防稅ノ御說  
明ト、一年志願兵廢止ノ趣旨ガ合スルト思  
フノデアリマス、此際陸軍當局ニ一ツ御考  
ヲ最近オ止メニナッタノモソレト同ジ趣旨  
デスカ、ソレヲオ止メニナッタ趣旨ト、從來  
ハリ長期戰トカ云フヤウナ場合ニ於キマシ  
テハ、單ニ主觀的ナ精神的ナ總動員ダケデ  
モ必要デアラウト思ヒマス、況シテ斯ウ云  
フ事變ノ場合ニ於キマシテ、色々軍費ガ要  
ル場合ニ、或ハ酒ノ稅金ガ上ルトカ、煙草ノ  
値段ガ上ルトカ云フヤウナ場合ニ於キマシ  
テモ、吾々ハ酒ヲ飲ンデモ酒ハ高クナッタト  
云フコトダケラ考ヘルダケデアッテ、何故ニ  
ヤウナ人頭稅的稅率ヲ課スルト云フ點ハ、  
只今ノ所、軍トシテハマダヤラヌ方ガ宜カ  
ラウト云フコトニ結論ヅケラレテ居ルノデ  
テヲ律スルト云フ工合ニナリマシタ、殊ニ  
ゴザイマスガ、尙ホ御趣旨ノ點ヘ能ク諒承  
致シマシテ、此上トモ研究ハ十分致シタイ  
ト考ヘマス

○水谷委員 サウ云フ趣旨ナレバ非常ニ結  
構ダト思ヒマス、只今ノ所謂國防稅ノ御說  
明ト、一年志願兵廢止ノ趣旨ガ合スルト思  
フノデアリマス、此際陸軍當局ニ一ツ御考  
ヲ最近オ止メニナッタノモソレト同ジ趣旨  
デスカ、ソレヲオ止メニナッタ趣旨ト、從來  
ハリ長期戰トカ云フヤウナ場合ニ於キマシ  
テハ、單ニ主觀的ナ精神的ナ總動員ダケデ  
モ必要デアラウト思ヒマス、況シテ斯ウ云  
フ事變ノ場合ニ於キマシテ、色々軍費ガ要  
ル場合ニ、或ハ酒ノ稅金ガ上ルトカ、煙草ノ  
値段ガ上ルトカ云フヤウナ場合ニ於キマシ  
テモ、吾々ハ酒ヲ飲ンデモ酒ハ高クナッタト  
云フコトダケラ考ヘルダケデアッテ、何故ニ  
ヤウナ人頭稅的稅率ヲ課スルト云フ點ハ、  
只今ノ所、軍トシテハマダヤラヌ方ガ宜カ  
ラウト云フコトニ結論ヅケラレテ居ルノデ  
テヲ律スルト云フ工合ニナリマシタ、殊ニ  
ゴザイマスガ、尙ホ御趣旨ノ點ヘ能ク諒承  
致シマシテ、此上トモ研究ハ十分致シタイ  
ト考ヘマス

ソレ等ノ點ヲ併セ考ヘラレマシテ、尙ホ一層ノ御研究ヲシテ戴ケバ非常ニ結構グト思ヒマス、陸軍當局ニ對スル私ノ質問ハ之ヲ以テ打切りマス

○高橋委員長 渡邊玉三郎君カラ陸軍當局ニ質問ガアリマス、此場合是ヲ許シマス

○渡邊委員 軍需資材ノ輸入ノ爲ニ必要品ノ輸入ガ調整サレマスコトハ時局柄肯定スル所デアリマス、ソコデ大藏當局ハ織物消費税ニ付テ七十万圓カラ本年ノ豫算ニ減額ヲ豫想シテ居ラレル、此事ニ付テハ私ハ質問ノ機會ヲ得テ大藏當局ニ聞キマスケレドモ、幸ヒ吉野商工大臣ガ見エラレマシタガ、居ル中小工業者ガ、綿絲或ハ毛絲ノ配給ガ少クナルノデアリマス、私ノ豫想スル所ニ依リマスト、先づ半額ダト思ヒマス、是ハ軍部ニ直接關係ハアリマセヌガ、少々ナラ大シタコトハナイガ、個人ノ營業収益ガグット、前年ヨリハ下ルト思ヒマス、併シ是ハ大藏當局ノコトデアリマスカラ、軍部ノ方ニ御伺スルノデハアリマセヌ、斯様ナ次第デアリマスカラ、軍需品殊ニ被服ニ付キマシテ、物ノ產地ハ殊ニ疲弊シテ居ルノデアリマスカラ、織物產地ト申シマシテモ、時局柄統制ヲ受ケナイ毛織物產地トカ、綿

織物產地デモ、輸出物ヲ多クヤッテ居ル所ハ、割ハ國內需要デアリマスカラ、之ニ輸入ノ調整ヲ加ヘラレマスト——其調整ヲ加ヘラレル數字ハ、私ノ豫想スル所ニ依リマスレバ、半額以下ニナルト思ヒマス、或ハ三分ノ一以下ニナルカモ知レマセヌ、斯ウ云フ状態デアルナラバ中小工業者ガ疲弊困憊シテ居ルノニ、一層拍車ヲ掛ケル結果ニナリマス、中小工業者ノ中デモ六人以下ノ職工ヲ使用シテ居ル者ガ、十分ナ統計ハ戴キマセヌガ、七〇%以上アルト思フ、斯ウ云フ者ガ段々仕事ガ減ヅテ行ケバ生活ニ困リヤウニ、多少ノ御手數等ハアルト思ヒマスカラ、成ベク中小工業者ニ註文サレマスルトハ言ヒマセヌ、廣義國防ノ上カラ、是ハ所謂國民生活ノ重點デアルト思ヒマシテ、此機會ニ當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマスカラ、能ク分ツテ居リマスケレドモ、中小工業者ノ組織シタ團體デアル工業組合ガ出來テ居リマス、此工業組合ハ團結ノ力ニ依ツテ、信用ノ點ニ於テハ御安心モ、特ニ農民並ニ中小工業ニ從事シテ居ラレル方ガ軍ノ組成ノ主體デアリマシテ、此其製品ノ統一シタモノが必要デアリマスカコトハ最モ必要ナコトト考ヘテ居リマス、

○町尻政府委員 只今ノ御話御尤ノコトト考ヘテ居リマス、私共軍ノ者ト致シマシテタコトヲ満足ニ存ジマス、勿論バラ／＼デハ、所謂統一セザル製品ガ出來テハ困ルコトハ申ス迄モアリマセヌ、サウシテ又中小工業ノ方カラ言ヒマシテモ、中小工業ヘはソレコトニシテ、精々斯ウ云フ困ツテ居ル方面ニ對シテ軍需資材ヲ註文シテ貰ヒタイ、アリマス、襯衣ナドノ御註文ハ斯様ナ方面ニ註文スルヤウナ方針ニシテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ此機會ニ要望スルノデアリマス、尙ホ此際附加ヘテ置キマスルガ、昨年以來商工大臣カラモ御話ヲ願ツテボツ／＼御註文ハ受ケテ居リマスケレドモ、大體大工場ノ方ガ組織ガシカカリシテ居ルカラ註文サレマスルニ便利デアル、斯ウ云フ點ハ私共ハ肯定致シマス、併ナガラ斯ウ云フ時局デアリ、斯ウ云フ實際ノ實情デアリマスカラ、成ベク中小工業者ニ註文サレマスルトハ言ヒマセヌ、廣義國防ノ上カラ、是ハト豫想シテ居ツタノデアリマス、ドノ程度マデサウ云フモノガ下ニ散ラバツテ居リマスルカノ詳細ハ、私只今承知致シテ居リマセヌガ、只今ノ御趣旨ノ點ハ非常ニ御尤ト考ヘマスノデ、關係ノ方面トモ能ク相談ヲ致シマシテ、御趣旨ニ副フヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 淘ニ御親切ナル御答辯ヲ賜タコトヲ満足ニ存ジマス、勿論バラ／＼デハ、所謂統一セザル製品ガ出來テハ困ルコトハ申ス迄モアリマセヌ、サウシテ又中小工業ノ方カラ言ヒマシテモ、中小工業ヘはソレデ只今ノ御話ノ被服或ハ其他ノ之ニ類シマスル裝具類ニ於キマシテモ、努メテ單ニ大工場ダケデナシニ、中小工業ノ方々ニサウ云フモノヲヤッテ戴クト云フコトハ、軍需資材ト言ウテモ私ノ申スノハ織物デアリマス、襯衣ナドノ御註文ハ斯様ナ方面ニ註文スルヤウナ方針ニシテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ此機會ニ要望スルノデアリマスルシ、又現在或ル程度マデ努メテ居ルト思フノデアリマス、唯バラ／＼デハ實際上非常ニ困リマスノデ、或ル程度ノ組合組織カ、サウ云フヤウナモノニ、東ニシテ御願トスルト云フ風ナ形ニナレバ大變好都合デナナイカト考ヘテ居リマス、又大工場デ請負ヒマシタモノモ、相當實際ノ仕事トシテハ、下デ下請ヲシテヤッテ居ルノデハナイカラスルト云フ、

ハ洵ニ中小工業ヲ統制スル上ニ於テ却テ困  
ルノデアリマシテ、恐ラク工業組合ノ方カ  
ラ致シマシテモ、陸軍ノ方カラ指定サレル  
工場ハ指定サレテ宜シイノデアリマスケレ  
ドモ、註文ハ工業組合ヲ通ジテ行カナケレ  
バナラス、斯ウ云フコトニセラレルコトガ  
今日ノ統制ノ上ニ於テモ洵ニ望マシイコト  
デアリマス、ドウカ此機會ニサウ云フ風ニ  
御願スルヤウニシテ置キタイト思ヒマス  
尙ホ幸ヒ商工大臣ガ居ラレマスカラ、私  
ハ商工大臣ニ一言ダケ承リタイ、毛織物ガ、  
原毛輸入ヲ少クスル——少クスルト云フコ  
トハ、中小工業ノ營業稅ガ少クナルト云フ  
コトガ本當デアリマス、昨年ノ實績カラ見  
マスルト、本年ハ苛斂誅求デアリマス、デ  
アリマスカラドレダケノ數字トハ申シマセ  
ヌ、日本ノ國內ノ需要ガ昨年六十五万俵デ  
アッタ、今年ハ何分ノ一ニナルノダ、斯ウ云  
フコトノ豫測ダケデ宜シイ、之ヲ私ハ大藏  
省ノ方ニ聽イテ置イテ貰ヒタイ、大藏省ノ  
方ガ七十万圓バカリノ、臨時租稅措置法ニ  
於テ減額ヲ見込マレテ居リマスケレドモ、  
半分カ三分ノ一シカ仕事ガ出來ナイモノガ、  
ソレダケノ御見込デハ大藏省ノ御見込達ヒ  
デアル、斯ウ云フコトヲ確メテ置キタイガ  
爲ニ、例ヘバ大摠ミデ宜シイ、毛ニ付テハ

半分ハ輸入スルカセヌカ、私ハ輸入セヌト  
御答ニナルト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ  
極メテ簡単ナ見當ダケデ宜シウゴザイマス  
カラ、此機會ニ商工大臣ノ御答辯ヲ要求シ  
マス

○吉野國務大臣 御尋ノ具體的ノ數字ノコ  
トニ付キマシテハ、ハッキリ申上ゲ兼ネルノ  
デアリマスガ、大體其邊ノ御見當ト御想像  
願ヒマス

○渡邊委員 唯モウ一言ダケ大藏省ニ言ウ  
テ置キマス、宜シウゴザイマスカ

○高橋委員長 アナタハ、陸軍當局ニ對ス  
ル牽聯ノ形ニ於ケル質問ダケ御許シ致シタ  
ノデス、質問ノ順序ガアリマスノデ、他ノ  
順序ノ時分ニ一ツ御願スル方ガ適當デアラ  
ウト思ヒマス

○渡邊委員 唯私ハ大藏省ニ今ノコトヲ御  
聽キ願ツテ置ケバ結構デス

○高橋委員長 御聽キニナッテ居ルト思ヒ  
マス

○水谷委員 商工大臣ニ、增稅ニ關聯シテ  
キヲ願ツテ置キマス

○水谷委員 商工大臣ニ、増稅ニ關聯シテ  
言ハレテ居リマス、是ハ商工大臣モ同意見

○吉野國務大臣 マダ豫算マデ一寸間ガア  
大體ドノ位ノ時間此處ニ居テ戴ケマスカ  
テ、其對策ト致シマシテ、日支事變ガ起リ

リマスカラ……

○水谷委員 日本ニ於キマシテ只今物價問

題ガ非常ニ重大ナル問題ニナッテ來、サウシ  
テ物價ノ騰貴ト云フコトガ、ドウ云フ原因  
デ此ヤウニ騰貴シタカト云フコトモ、此處

デ私ガ申ス迄モナク商工當局トシテ御存ジ  
デアラウト思フノデアリマス、先ヅ第一點  
トシテ吾々ガ御尋シタイト思フ點ハ、此物

價問題ノ取扱如何ニ依リマスレバ、商工大  
臣ト大藏大臣トノ合作ニナッテ居ル經濟ノ三

大原則ノ中ノ、今ハ一番重要ナ原則ニナッテ  
居ル所ノ一志三片ガ、國內的カラ破レルヂ

ヤナイカト云フ點ニ付テ御聽キシタイノデ  
アリマス、申ス迄モナク是ハ吉野商工大臣

モ同ジ御意見デアリマスガ、賀屋大藏大臣  
モ繰返シ是マデノ機會ニ於テ吾々ノ前ニ辯

明サレタノハ、所謂戰時ニ於テ一番恐ロシ  
イ惡性「インフレ」ヲ避ケル爲ニハ、國際的

ニハ國際收支ノ維持、國內的ニハ金ト物ト  
ノ「バランス」ヲ取ル、而モ其金ト物トノ「バ

ランス」ヲ取ル積極的ノ方針ト致シマシテハ、  
生產力ノ擴充、消極的ノ方面トシテハ、貯

蓄ノ獎勵ト合理的ノ消費節約ト云フコトヲ  
言ハレテ居リマス、是ハ商工大臣モ同意見

デアラウト思フノデアリマス、唯私ハ此際  
ハッキリサシテ置カナケレバナラヌノハ、口

デ金ト物トノ「バランス」ト申シマシテモ、是

ハ非常ニ難カシイノデアリマシテ、此度ノ

日支事變ノ所謂事變財政ノ特殊性ハ何デア  
ルカト申シマスレバ、日本ノ生產力ノ擴充

ガ具體的ノ過程ニ入ラナイ前ニ事變ガ起リ  
マシテ、是ガ不幸ニモ長期戰ニ持ツテ行カレ

タト云フ點ガ、非常ナ特殊的ノ狀態デハナ  
カラウカト思フノデアリマス、隨テ物ト金  
トノ「バランス」ヲ取ルト云フコトハ非常ニ難

カシイノデゴザイマシテ、吾々ハサウ云フ  
點カラ考ヘマスレバ、生產力ヨリモ通貨ノ

膨脹ガ先ニ走リマシテ、金ト物トノ「バラ  
ンス」ガ破レマシテ、物價ノ騰貴ト云フモ  
ノガ非常ニ起ツテ來ルト云フコトハ、私ガ茲

ニ説明スル迄モナイノデアリマス、隨テ物  
價ノ騰貴ガ起ツテ參リマシテ、ソレニ對シテ  
對策ガナケレバ、折角惡性「インフレ」ヲ喰止  
メル所ノ第一ノ防波堤デアル一志二片ガ、

國內的カラ破レテ行キハシナイカ、之ヲ非  
常ニ心配スルノデアリマスガ、此點ニ關ス  
ル商工大臣ノ御意見ヲ承リタイト思フ次第  
デアリマス

○吉野國務大臣 私モ全然同ジ意見デゴザ  
イマス

○水谷委員 ソレデハ商工大臣ト致シマシ

テ、其對策ト致シマシテ、日支事變ガ起リ

マシテカラ——其以前ハ別デゴザイマスガ、

日支事變ガ起リマシテカラ、物價騰貴ノ抑

制トシテ如何ナル對策ヲ執ツテオイデニナリ

マスカ、其點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 先日モ此委員會デ大體其

問題ニ付キマシテ申上ガタノデゴザイマス

カラ、御承知デキラッシャイマセウト思ヒマ

スガ、先ヅ大體物價ノ問題ニ付キマシテハ、

餘リ政府ガ干涉ガマシイ事ヲヤルコトハ却ツ

テ私ハ百害アツチ一利ナイト云フ考デゴザ

イマス、ソレデゴザイマスカラ始終物價ノ

問題ニ注意致シマシテ、而シテ餘リ眼ニ餘

ルヤウナモノニ局處的ノ方法ヲ用キルト云

フ大體ノ方針デアリマス、隨ヒマシテ輸入

ヲ人爲的ニ抑制スルト云フモノニ付キマシ

テハ、其物ノ配給統制ヲヤリマシテ、此間

モ申上ゲマシタ通リニ、自由市場ニ自由ニ

取引ガ出來ナイヤウナ方法ヲ講ズル、ソレ

カラ價格公定ノ點モ、私ハ何故干涉ガマシ

イコトヲシナインガ宜イカト申シマスル

ト、ウツカリ之ヲ公定致シマスト、却ツテ消

費者ノ方ガ是ハ大變ダ、今買ハナイトイケ

ナイト云フコトデ却ツテ暴騰ヲ告ゲルコト

ガ從來モ屢々ゴザイマシタカラ、最高價格

ヲ決メル、或ハ公定スル、或ハ是マデ行カ

ナクテ、唯官廳ニ販賣ノ値段ヲ届出デシム

ル、サウ云フ所ニ相當注意ヲ致シマシテ、段

階ヲ設ケテヤルト云フコトヲ考ヘテ居リマ

ス、併シ何ニ致セ根本ノ方針ト致シマシテ

ハ、物價ハ需要供給ノ原則ニ依ツテ定マルノ

デアリマスカラ、ヤハリ國民全般ガ之ニ協

力シテ無用ナ消費ヲシナイト云フコトニナ

ラナイト、十分ナ效果ハナイト考ヘルノデ

アリマス

○水谷委員 大體前ノ御説明ト同ジデアリ

マスルガ、私ノ考ヘ違ヒデナケレバ、前ノ

時モ只今商工大臣ガ御示シニナリマシタ

ノハ、消極的ナ對策デアラウト私ハ思ヒマ

ス、其前ニ——私等ハ今商工大臣ガ申サレ

マシタヤウニ、原則ハヤハリ需要供給ノ關係

デ決マルノデアリマスカラ、サウ云フ消極的

ナ對策ノ前ニ、先づ積極的ナ對策ヲ考ヘル

ノハ、勿論其第一次的ノ原因ハ厖大ナル豫

算ノ編成、ソレニ基キマシテヤハリ生産

ノノ擴充ヲヤルガ爲ニ必要ナル物ハ輸入ス

ルガ、第二次的ノモノハ輸入ヲ制限スル、言

葉ヲ換ヘテ申シマスレバ軍需品、軍需原料、

的ナ產業ニ對スル原料其他ノ點ニ關シマシ

テハ、色々ナ制限ガ起ラウト思フノデアリ

マス、ソコデハ第一ニ考ヘナクテハナラ

ル第一點トシテ考ヘルノハ、日支事變ニ對

産業發展ノ爲ニ何カ茲デ大キナ一石ヲ打ツ

スル或ル程度ノ見透シヲ立テマシテ、平和

支事變ノ初期ニ於キマシテハ、ドウシテモ

早急的ニ戰ニ勝タナクテハナラヌノデ、直

接戦鬪力ニ要スル所ノ生產力ノ擴充ト云フ

コトニ、一カラ百マデ吾々ハ努力ヲシナク

チヤナラヌコトハ申スマデモナイ、併ナガ

ラ現在ノヤウニ日支事變ガ第二期ノ段階、

或ハ長期戰ト申シマスルカ、サウ云フ段階

ニ入ッテ、肚ヲ落著ケ、腰ヲ据エテコチラモ

ヤツテ行カナクテハナラヌ場合ニ於キマシ

テハ、ドウシテモサウ云フ物價騰貴ニ根本

ニ付キマシテ、從來ノヤウニ針葉樹ダケデ造

タ時代カラ脱却シテ、闊葉樹デ「バルブ」工業

ヲ興スト云フヤウニ、相當基礎的ニ平和產

業ト云フモノノ將來ノ計ニ對シテモ力ヲ盡

シテ居ル譯デアリマスケレドモ、何セ現在

ノ所マダ事變ガ始マリマシテカラ半年ト一

寸シカ經チマセヌ爲ニ、ドウシテモ軍需資

材ノ生產力擴充ト云フ方ニ力ヲ專ラニシナ

ケレバナラヌモノデスカラ、只今私ガ申上

ゲマシタケレドモ、マダ皆様ノ眼ニ線ガ太ク

映ラナイト云フヤウナ憾ガアルコトハ御諒

察ヲ願ヒタイト思ヒマス

○水谷委員 ソコデ一つ問題ガ起ツテ來ル

ノデゴザイマスガ、只今商工大臣ノ仰セニ

ナリマシタヤウニ、軍需的ナ生産力ハ勿論  
擴大シナクチヤナラヌ、是ハ絶對的ナモノ  
デアル、其餘力ヲ以テヤハリ平和產業ニ乘  
出スト云フコトデ、結局問題ハ金ノ問題ニ  
ナッテ來ルト私ハ思フノデアリマスガ、之ニ  
關シマシテ商工省ニ是マデ御執リニナリマ  
シタノハ產金獎勵策デアリマシテ、出來ル  
ダケ金ヲ餘計採ツテ外國カラ物ヲ買フ力ヲ  
養ハウト云フ御考デアリマスガ、其以外ニ  
私ガ此際商工當局ノ御意見ヲ御伺シタイノ  
ハ、所謂日銀保有金ノ八億圓ノ問題デアリ  
マス、此八億圓ノ問題ニ關シマシテ、私ハ  
商工大臣ガ是マデ答辯ヲサレマシタ其道行  
ノ結果ト致シマシテ、一部デハ此八億圓ハモ  
ウ全部出シテシマッテ、必要ナモノハドン  
ドン買ヘバ宜イヂヤナイカト云フヤウナ意  
見ガ、眞面目ナル學者ノ間カラモ起ツテ居ル、  
其根據ト致シマシテ、別ニ八億圓全部ナク  
ナッタッテ、日本ノ國家權力サヘ確ッカリシテ  
居レバ別ニ差支ナイト言ツテ、或ハ獨逸、伊  
太利ノ例ヲ引キ、更ニ金ガ何ボアッテモ政  
情不安ナル佛蘭西ナドハ爲替相場ガ變轉常  
ニイデハナイカト云フヤウナ例ヲ引イテ、  
之ヲ全部出シテシマッテモ宜イカラ、一ツ軍  
需工業、平和產業竝ビ發展スルヤウニヤル方  
ガ宜イヂヤナイカト云フ意見ヲ立テテ居ル

人ガアル、私ハ之ニ對シテハ即座ニ贊成ハ出來ナイト思フ、ソレハ成程全部其金ヲ出シマシテモ、日本ノ國家權力ガ確ッカリシテ居レバ國內的ニハ押へガ利キマスケレドモ、國際的ニハ爲替相場ト云フモノハ「スペキュレーション」ノ目的ニモナルノデアリマシテ、必シモサウ云フ說ガ正シトヘ思ヒマセヌ、併ナガラ若シ此八億圓ヲ其儘焦付カシテ、而モ遲々トシテ進ム所ノ產金ノ増加率ダケデヤツテ行カウト致シマスレバ、結局口デハ軍需品以外ノ平和產業モ興ス、積極的ニ輸出ヲ振興サシテヤツテ行カウト言ッテモ、是其八億圓問題ニ付テ考ヘナクテハナラヌト思ヒマス、勿論是ハ管轄的ニハ大藏大臣ノモノデゴザイマセウガ、巷間傳ヘラレルヤウニ、現在ノ經濟三原則ト云フモノハアナタト賀屋サントノ合作ニナツテ居ルモノダト言フカラ、此點ニ關シマシテ商工大臣ノ御意見ヲ聽クコトハ斷ジテ無益ナコトデハナカラウト思フノデアリマシテ、此點ニ關スル商工大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

國內的ノ問題ト致シマシテ、正貨ト通貨ノ  
關係ニ付キマシテハ絶對的ノモノデナイト  
云フコトハ、大藏大臣モ御認メニナッテ居リ  
マス、唯此際此秋所謂爲替相場ノ水準ヲ堅  
持スルト云フ立前カラ、ドウシテモソレニ  
手ヲ著ケナイ方ガ宜シイ、斯ウ云フ立前デ  
ヤツテ居ルノデアリマシテ、隨ヒマシテ金ノ  
現送ト云フモノヲ產金額ニ限ルト云フ結果  
カラ、ソコニ非常ニ窮篇ナ輸出入ノ計畫ヲ  
立テナケレバナラヌト云フコトデアリマス  
ケレドモ、併ナガラ同ジ窮篇ト申シマシテ  
モ是ハ程度ノ問題デアリマシテ、國家産業  
ノ前途ヲ萎縮セシメルヤウナコトハ避ケナ  
ケレバナリマセヌ、私ハ現在ノ情勢ニ於キ  
マシテハ、國家産業ヲ萎縮セシメズシテヤ  
ル、是ダケノ確信ト申シマスカ、所信ヲ以  
テ只今ノ原則ヲ堅持シタイト考ヘテ居リマ  
ス

カドウカト云フノハ大キナ疑問デアラウト私ハ思フ、隨テ私ノ意見ヲ率直ニ申シマスレバ、是ハ極メテハ折衷論デハゴザイマスルガ、此八億圓ト云フ準備金ヲ、產金額ト睨ミ合セテ、計畫的ニ計畫年度ヲ附シテ使フト云フコトガ私ハ一番良策デアラウト思フ、或ハ一部ノ論者ノヤウニ、八億圓直グパーティ出シテモ宜イデハナイカ、露西亞ノ產金政策、或ハ亞米利加ノ情勢カラ言ツテ、果シテ金ガ何時マデ現在ノヤウナ效力ヲ持ツテ居ルカドウカ疑問ダカラ、出シテモ宜イデハナイカト言ヒマスケレドモ、恐ラク八億圓ヲ出シタカラト云ツテ直グニ日本ノ所期スルヤウナ生産力ノ擴充ハ出來ナイ、所謂八億圓ハ出シタ、生産力ノ擴充ハ出來ナイト云フコトニナレバソレコソ大變ダラウト思フノデアリマシテ、私ハ結局ハ所謂產金ノ量ト睨ミ合セテ、計畫的ニ計畫年度ヲ附シテ此金ヲ使フ方ガ、吾々ガ曩ニ申シマシタ所謂平和產業發展ノ上カラ、一番良策デアラウト感ズルノデゴザイマスガ、此事云フ御答辯ヲ得ルコトハ無理ダト思ヒマス、現在局ニ當ツテ居ラレルアナタカラ斯ウ隨テ私ハ御答辯ハ戴キマセヌガ、私ノ考ハ

第六類第六號 臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄 第十三回

第十三回 昭和十三年三月四日

タイト思フノデアリマス

然ラバサウ云フ工合ニ致シマシテ日銀ノ

八億圓ヲ送ルコトモ出來ナイト云フコトニ

ナリマスレバ、結局ハ先達テアナタガ申サ

レタ爲替清算協定ト云フモノヲ、吾々ハソ

コニ想起スルノデゴザイマスガ、アレハ前

ニ議論ノアリマシタ時ニハ、爲替相場ノ關係カラ議論ニナツタノデゴザイマスガ、私ハ

此際輸出ノ振興策トシテモ、ヤハリ之ヲ活

用スベキモノデハナカラウカト思フノデア

リマス、當時新聞ニ現レマシタ點デハ、亞

米利加茲ニ獨逸ガ其相手國ニナツテ居リマ

シタガ、商工大臣ハ前ニ爲替問題トシテ取

上ゲラレタ此爲替清算協定ヲ、輸出振興ノ

一つノ有力ナル方策トシテ考ヘラレルコト

ガ出來ナイカドウカ、若シ出來ルト致シマ

シテ、ソレデハ目標トサレマシタ亞米利加、

獨逸ト何カ具體的ナ交渉デモ、或ハ政府同

士或ハ民間同士ニ付イテ居ルノカドウカ、

ソレ等ノ點ヲ御聽カセ戴ケバ非常ニ結構ダ

ト思ヒマス

○吉野國務大臣 其點モ私ハ同感デゴザイ

マシテ、ヤハリ輸出入振興ノ一つノ方策ト

シテア、云フヤウナヤリ方ヲシナケレバナ

ラヌノダ、是ハ當初カラサウ云フ考デ居リ

マス、唯相手ガゴザイマスシ、サウシテ此

事ハ獨リ産業經濟ダケノ單純ナ問題デハア

リマセヌノデ、政治ノ問題ナドモ絡ンデ居

リマスカラ、色々出來ルダケノコトヲヤッテ

居リマスガ、今此處デ具體的ニドノ國トド

ウ云フ風ニト御話スルマデニマダ進ンデ居

リマセヌ、是ハヤハリ國際的ノ政治的情勢

ト云フヤウナモノノ支配ヲ非常ニ受ケルモ

ノデアリマスガ、併シ出來ルダケサウ云フ

方途ニ向ツテヤリタイト思ッテ、今折角努力

申デゴザイマス

○水谷委員 其次ニ御伺シタイノハ、現在

ノ日本ノ情勢ト致シマシテ生産力ノ擴充ノ

爲ニ相當程度ノ金額ノ物ヲバ輸入シナクテ

ハナラヌコトハ當然デゴザイマスガ、ソレ

デ吾々ガ考ヘマスノハ、輸入ヲスルニ致シ

マシテモ出來ルダケ安ク物ヲ輸入スルト云

フコトガ是亦必要デアラウト思フ、或ハ商

工省ノ委員ニナツテ居ル關係上、吉野サンモ

御存ジカ知レマセヌガ、京都大學ノ谷口君

ナドモ、此輸入ニ關シテ統一的ニ或ル機關ヲ

設ケテヤラナケレバ、從來ノヤウニ鐵ガ足

ラスト言ヘバ、日本ノ「エー」「ビー」「シー」

ト云フ者ガ市場ニ飛ンデ行ッテ、日本人同士

デ値段ヲ騰ゲルト云フヤウナコトラスレバ、

折角一億圓ノ金ヲ費シテ五千万圓ノ物シカ

買ヒ得ナイヤウナコトデアリマシテ、是ハ

非常ニ國策上困ル問題デアリマスガ、アレ

モイカヌ、是モ難カシイト云フコトニナレ

バ、是等モヤハリ吾々ハ大イニ考ヘナクテハ

ナラヌト思フノデゴザイマス、之ニ對シマシ

テ商工當局ノ御意見ヲ御聽キシタイト思フ

ノデアリマス

○吉野國務大臣 物ノ輸入ニ付キマシテ一

ツノ大キイ組織ヲ作ルト云フコトガ、現下

ノ時局ニ於キマシテ幾分デモ安ク買入レ得

ルト云フコトハ、私モ能ク氣ガ付イテ居ル

ノデアリマス、ソレデセメテ政府部内ニ需

要スル物ダケニ付キマシテモ、サウ云フヤ

ウナコトヲ考ヘタイト思ッテ居リマス、唯

是ハヤリ方ガ惡イト、現在ノ商賣ノ系統ト

云フモノヲ全部壞スコトニナルノデアリマ

ス、歐羅巴戰爭ノ時ニ英吉利ナドデモ盛ニ

此方法ニ依ツテ效果ヲ收メタノデアリマス

ガ、ソコハ經濟界全般ノ現狀、國民ノ此事

變ニ對スル認識如何ト云フモノト絡ンデ、

能ク考ヘナイデサウ云フコトヲ致スト、其商

賣ヲシテ居ツタ人ハ御承知ノ通り失職ノ

憂目ヲ見ル譯デアリマスカラ、サウ云フ點

ニ付キマシテハ、サウ云フ社會的方面ト云

フモノノ考慮ヲモ疎カニシテハ參レマセヌ

ノデ、御話ノ點ハ私ハ主義トシテハ異議ハ

ナイノデ全然同感デアリマス、幾ラデモサ

ウ云フ方面ニ對シテ力ヲ盡シタイト云フ心

持デアリマスケレドモ、今申シタ如ク現在

ノ業者ニ與フル社會的影響ト云フコトヲ考

慮ニ入レテ考ヘテ居ル、斯ウ云フヤウニ御

諒承願ヒマス

○水谷委員 大體積極的ニ物價ヲ抑制スル

爲ニ、ドウ云フ手段ヲ執ルベキカト云フコ

トニ關シマシテ、極メテ荒削リデアリマシ

タガ、商工當局ノ意向ハ分ッタ思フノデア

リマス、ソコデ次ニハ、此ヤウニアノ手此

手ヲ費シテモ而モ物價ガ騰ツテ來タ、是ハモ

ウ現實ノ問題トシテ騰ツテ來タ、其場合ニド

ウ云フ對策ヲ執ルベキヤニ付テ、商工當局

ノ御意見ヲ御聽キシタイト來タ、其マシタカ

シテ、何時デアリマシタカ設ケラレマシタ

シテ、ソレニ先ダチマシテ、最近ノ物價騰貴ニ關

シテ、何時デアリマシタカ設ケラレマシタ

シテ、マシタカドウカ、又ソレニ對シテ何カ積極

的ナ仕事ヲシテ居ルカドウカ、一寸聽カシ

テ戴キタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 所謂物價ノ中デ、例ヘ

バ鐵デゴザイマストカ、銅デゴザイマスト

カ、所謂原料品ニ屬スルヤウナ物デ軍需關係ノ物ニ付キマシテ、物價對策委員會ノ答申ニ基キマシテ、ソコデ關係業者ノ配給ノ組織ヲ作リマシテ、今ヤッテ居ル譯デアリマ

ス、銅モアノ水曜會ニ「アウトサイダー」モ  
入リマシテ、一ツノ組織ガ出來マシタシ、  
鐵ニ付キマシテモ御承知ノ通り組織ガ出來  
マシタ、サウ云フ目立ッテ値段ガ高クナリ  
マシタ原料品ニ付キマシテハ、サウ云フ仕  
組ヲ段々作ッテ居リマス、ソレカラ一般ノ  
生活ノ必需品ノ方ノ物價デゴザイマスガ、  
此方ハ小賣物價ノ指數ヲ御覽ニナリマシテ  
モ、最近ニ上ヅテ居リマスガ、其原因ハ主ト  
シテ被服ノ方ノ關係ノ問題デアリマシテ、  
是ハ此間中新報ヲ賑ヘシマシタ晒木綿ノヤ  
ウナ、ア、云フ問題モ相當ニ影響モアッタラ  
ウト存ジマスルガ、是等ノ方面ニ付キマシ  
テモ既ニ純綿布ハモウ使ハセナイト云フ方  
針ヲ立テ居ルノデアリマス、唯純綿布ノ  
小賣商ノ取引ハ六月迄ヤツテモ宜シイト云  
フコトニナツテ居リマスノデ、其間ノ經過的  
ノ問題トシテア、云フ問題ガ起ッタノデア  
リマスガ、アレニ對シマシテモ相當ノ抑制  
ヲ加ヘルヤウナ方針ヲ考ヘテ居リマスル  
シ、其他此間モ申上ガマシタ通リニ、暴利  
取締ノ省令ト云フモノヲ活用致シマシテ、  
段ヲ届出デシメルト云フ方針ヲ執ッテ居リ  
サセマセヌガ、官廳ニ對シマシテ販賣ノ值  
マス、ソレヤ是ヤ合セテ考ヘテ居リマシ

○水谷委員 前ニ商工大臣ガ此席デ言明サレマシタ物價委員會デスガ、是ハ單ニ暴利ルノデスカ、或ハ價格ノ公定或ハ協定ト云フヤウナ効キモサス爲ニ、中央地方ニ御設ケニナルノデスカ、ドウデスカ

○吉野國務大臣 マダ其組織權限等ニ付キマシテ確カナル腹案ハ持ツテ居リマセヌケレドモ、何時ゾヤモ申上ゲマシタ通リニ、價格公定ヲスル制度自身ニ付キマシテ、私モ多大ノ躊躇ヲ持ツテ居ルモノデアリマシテ、能ク諸外國デモ行ヒマシタ如クニ、價格ヲ公定致シマスト、表向ノ値段ハ決リマスケレドモ、其裏ノ値段ガ生ジマシテ、之ヲ取締ルコトニ非常ニ困ル、澤山ノ取締ノ警察官吏ヲ使ハナケレバナラスト云フヤウナ弊害モ如實ニ見テ居リマスノデ、無論此委員會ニ付キマシテハ、餘リ法外ナ値段デアルト云フヤウナモノニ付キマシテハ、或ノ方カラ警告ヲスルナリ、或ハ法令ヲ活用ニスルナリ、或ハ代用品ト云フモノノ利用ニ申ニナリマシタ對策ノ一端ヲ實行シテ居ル積リデアリマス

○水谷委員 ソレハ今商工大臣ガ申サレマシタヤウニ、價格公定ヲシタダケデハ意味ノナイコトト思ヒマスガ、現在デ一番重要ナル點ハ、ヤハリ價格ヲ公定ハスルガ、其背後ニ其公定シタ價格ヲバシッカリ嚴守サス所ノ——或ル新聞ニ依リマスレバ經濟檢察制ト申シマスルカ、所謂物價問題ノ檢事局見タヤウナモノヲ設ケテ、ソレニ重點ニヲ置クト云フコトハ、只今ノ商工大臣ト同意見デアリマス、隨テ私ハ此物價委員會ト云フモノノ機構ガ決マル前ニサウ云フ點ニ重點ヲ置カナケレバ、此委員會ト云フモノハ意味ヲ成サナイト思フ、所謂價格協定トカ公定トカ云フ効キモ必要デアルガ、其効キ以外ニ、所謂經濟檢察制ト申シマスルカ、物價ヲ監視スル其點ニ重點ヲ置クベキダト思ヒマスルガ、ソレハ商工大臣ト同意見デアリ、又サウ云フ機關モ決ッテ居リマセヌ、サウ云フ意見ハ御斟酌ガ願ヘルモノト思ヒマス、其點ハソレデ宜イノデアリマスガ、儲チ吾々ハ物價騰貴ノ抑制ニ色々力ヲ盡シハドウ云フ物價ヲ一番先ニ目標ヲ置カナケ

レバナラヌカト云フニ、所謂「カルテル」、「トラスト」ト申シマスカ、サウ云フモノニ依ツテ  
擴大強化サレタ獨占事業ト云フモノヲ抑へ  
ルノガ、私ハ一番大事ナ點デアラウト思ヒ  
マス、所謂物價騰貴ヲ抑ヘルト申シマシテ  
モ、個々ノ餘リ大シタモノデナイモノヲ  
一ツ／＼抑ヘテハ際限ガナイ、山火事ヲアッ  
チヲ抑ヘレバコツチガ燃エルト云フヤウナ  
モノデ、際限ガナイノデアリマシテ、一番  
最初ノ目標ニシナクテハナラヌノハ、私ハ  
獨占事業デアラウト思ヒマスガ、之ニ對シテ  
商工當局ハドウ云フ工合ニ御考ニナツテ居  
リマスカ

ノ威力ガ非常ニ甚ダシイノデアリマスカラ、獨占企業デナイ、自由競争ガ行ハレル場合ニ於キマシテ、詰リ平常デアッテ、即チ需

要ト供給ノ「バランス」ガ取レテ居ル、或ハ供給ノ方ガ多イト云フ時ニハ、御話ノ通り獨占企業ニ先以テ第一ニ力ヲ入レナケレ

バナラヌ、所ガ需要供給ノ「バランス」ガ破レマシテ、需要ガ非常ニ盛デアル時ハ、實

ハ獨占企業ト云フヨリハ、却テバラノノ自由競争ニ任サレテ居ツタ所ノ群小ノモノ

ガ、我モト値段ヲ上ゲルト云フ方ノ心配ガ私ハ恐ロシイト思フ、一ツノ獨占企業

デアリマスト、自ラ今日ニ於キマシテハ重要

産業統制法ト云フモノノ規定ニ依ッテ適用

ラ受ケルコトニナッテ居ル、其値段モ届出ヲスルコトニナッテ居テ、ソレモ或ル程度ハ

國家ノ監視ト云フ制度ノ下ニ置カレテ居ル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ非常ニ物ガ上ルノダト云フ時ニ、一番先駆ヲシテ値段ヲ上ゲルト云フコトハ、現在ノ法制

ノ下ニ於キマシテハ實際ニ於テハ出來ナイ、若シサウ云フ何等ノ法制ノ無イ所デ、

需要供給ノ「バランス」ガ壞レタ場合ニ値段ノ上ル方ガ恐ロシイノデアッテ、寧ロ當局トシテ、何レニ重キラ置イテ一番先ニ手ヲ入

レルカト云フ若シ御尋デゴザイマスレバ、

甚ダ遺憾デゴザイマスガ、水谷サントハ其

點ニ於テ少シ所見ガ違フノデゴザイマシテ、私ハ寧ロ後ノ方ニ力ヲ入レタイト思ヒ

マス

○水谷委員 ソレハ一ツ位ハ所見ヲ異ニス

ル方ガ宜イノデ、餘リ御尤バカリデハ困ルノデスガ、其點ハソレデ宜イノデアリマス、

續イテ御尋スルノデアリマスガ、此獨占事業ト云フモノラバ、商工當局ガ申サレマシタヤウニ抑ヘヨウトスレバ、ドウシテモ重

要産業統制法ヲ或ル程度改正シテ、公益規定ト申シマスカ、サウ云フモノノ睨ミヲ今

ヨリモモット效カサナクテハ、サウ云フ事ガ出來ナインデヤナイデセウカ、今ノヤウナ

重要産業統制法ノ下ニ於キマシテハ、アナタガ今仰シヤッタヤウナ所期ノ抑ヘハ效カ

ナイデ、値段ヲ上ゲヨウト云フ時ニハ上げ

ルシ、或ハ生産ヲ制限スルコトモ出來ルシ、

自由氣儘ニ出來ルノデアリマシテ、アナタハ今仰シヤッタヤウナ睨ミヲ效カス爲ニハ、

點ヲツ御聽キシタイ

○吉野國務大臣 アノ法律ニハ、統制協定

ヲ作リマシタ時ニハ屆出ヲスルコトニナッテ居リマス、細カイ施行細則ノコトハ私今ハッ

キリ覺エテ居リマセヌガ、法律ヲ改正シナ

クテモ、或ハ現在ノ施行細則ニ於キマシテモ、統制協定ガ出來マシタ時ニハ、之ヲ實

施スル前ニ或ル一定期間前ニ屆出デルト云

フ風ニ書イテアルカモ知レマセヌシ、又サ

ウデナケレバ、サウ云フ風ニ命令ヲ改正スレバ宜シイノデアリマス、要スルニ實施ス

ル以前ニ或ル期間ヲ置キマシテ届出制度ヲ決メマスレバ、値段ヲ上ゲヨウト言ッタ時ニ役所ガソレニ對シテ干涉ヲスル、或ハ介入ヲスル餘地ガアルノデアリマス、尙ホ細力

イ問題デアリマスケレドモ、私ハアノ届出制度ヲ置イタ趣旨ハ、命令ヲ以テ公示主義ニシタイ、詰リ物ノ値段ハ、幾ラ法規ヲ以テ罰則ヲ加ヘテ抑ヘマシテモ、裏ノ値段ト云フモノガアルモノダカラ、届出ニ依ッテ、

餘リ法外ナコトヲヤル場合ニハ、政府ノ名ニ於テ斯ウ云フヤウナ統制協定ガアルノダト云フコトヲ公示シテ、社會ノ輿論ニ懲

ヘタイ、斯ウ云フ積リデ届出主義ヲ立法致シマシタノデ、單純ニ手續上届出ヲ役所ノ

書類ト高閣ニ束ネテ置ク趣旨デハナインデアリマス、又サウ云フ精神デ居ルモノデア

リマスカラ、實際問題ト致シマシテハ、ド

リマス、細カイ施行細則ノコトハ私今ハッ

○吉野國務大臣 本會議議デゴザイマシタカ、

ヤハリ統制委員會ノ構成ニ付テ御質問ガ出

商工省ニ打合セヲシテ來ルト云フ例ニナツ

テ居リマシテ、先づ商工省ノ方ヘ言ウテ來タノニ對シテ、是デハ餘リ上ゲ過ギルデハナイカト云フヤウナコトヲ色々折衝シテ、

適當ナ所デ値段ヲ決メサセル、斯ウ云フ實際ノ慣例ニナツテ居リマス

○水谷委員 其届出主義ニ私ハ疑問ガアルノデアリマス、私ハサウ云フ細カイコトハ知リマセヌガ、例ヘバ麥酒會社ナラ麥酒會社デ値段ヲ届出デテ來ルト致シマス、商工當局ハ黙ツテ居レバ其儘デ行クノデセウ、

サウデハナイデスカ

○吉野國務大臣 法制上ハ届出ヲスル時ニ實施スル前ニ持ツテ參リマスカラ、黙ツテ居レバ、サウナリマスカラ黙ラナイデ、其値段ヲドウ云フ譯テ上ゲルノカ、之ヲ聽キマシテ、サウシテソレヲ多クノ場合ニハ統制委員會ト云フモノノ議ニ掛ケマシテ、引上値段ヲ決メルト云フヤウナヤリ方ヲシテ居リマス

マシテ、消費者デアルトカ、或ハ麥酒ナラ麥酒ヲ生産スル労働者トカ、サウ云フヤウナ代表者ハ今入ツテ居リマスルカ

マシタ時ニ御答シタノデアリマスガ、實ハ私モ此統制委員會ニハ、サウ云フ効キヲスルモノデアリマスカラ、消費者ノ代表ヲ入レタイ、斯ウ云フ積リデアノ委員ノ人選ニ付キマシテハ、サウ云フ點ニ考慮ヲ拂ッテ居ル積リデアリマス、唯何ガ消費者ノ代表カト云フ問題ニ付キマシテ、是レ亦或ハモウ少シ御話シテ見マシタナラバ、水谷君トハ多少所見ヲ異ニスル點ガアルカモ知レマセヌガ、私ト致シマシテハ、例ヘバ輿論ノ制裁ト云フ意味デ、新聞ノ御關係ノ代表デアルトカ、其他學者方面ニ於キマシテサウ云フ方面ノ代表者デアリマストカ、或ハ衆議院ノ代表者ト云フヤウナ方モ、サウ云フ意味デ人選ヲシマシタ、ツマリ一般國民、消費者ノ代表ト云フ意味デ選任シテ居ル譯デアリマス、マダ日本ニ於キマシテハ、消費者ノ國民全體ノ代表團體ト云フモノハ何カト云フコトニ付キマシテハ、必シモ萬人一致シタ見解ガナイノデアリマシテ、若シソレガ萬人一致シタ見解ガアレバ、其團體カラ代表者ヲ選ブト云フコトニハ少シモ私ハ異存ハナイ積リデアリマス

○水谷委員 只今商工大臣ノ仰シヤッタヤウニ、消費者ノ代表ト云フモノハ非常ニ選任ガ難シト云フコトハ仰セノ通リデアリカト云フ問題ニ付キマシテ、是レ亦或ハモウ少シ御話シテ見マシタナラバ、水谷君トハ多少所見ヲ異ニスル點ガアルカモ知レマセヌガ、私ト致シマシテハ、例ヘバ輿論ノ制裁ト云フ意味デ、新聞ノ御關係ノ代表デアルトカ、其他學者方面ニ於キマシテサウ云フ方面ノ代表者デアリマストカ、或ハ衆議院ノ代表者ト云フヤウナ方モ、サウ云フ意味デ人選ヲシマシタ、ツマリ一般國民、消費者ノ代表ト云フ意味デ選任シテ居ル譯デアリマス、マダ日本ニ於キマシテハ、消費者ノ國民全體ノ代表團體ト云フモノハ何カト云フコトニ付キマシテハ、必シモ萬人一致シタ見解ガナイノデアリマシテ、若シソレガ萬人一致シタ見解ガアレバ、其團體カラ代表者ヲ選ブト云フコトニハ少シモ私ハ異存ハナイ積リデアリマス

○吉野國務大臣 段々「デリケート」ナ御尋ニナッテ參リマシタガ、私モ率直ニ今申上げマス

○水谷委員 私ハ統制委員ノ人數ハ知リマテ商工大臣ノ御所見ヲ御聽キシタイト思ヒマス

云フヤウナモノモ、ソレノ一番適シタモノデアラウト思ヒマスルガ、此點ニ關シマシラウト思フノデアリマス、一例ヲ申シマスレバ或ハ消費組合或ハ勞働組合ノ代表者トタノデアリマス、併シ御趣旨ハ、私モソント云フ考デ、故ラニ今ノヤウナ人選ヲ致シ資本家ト勞働者ノ社會階級ノ對立相剋ト云立、一方ハ勞働者ノ代表者デアル、オ前ハニ、麥酒一本ガ假令一錢二錢騰ッテモ直グ困ルカモ知レマセヌガ、私等ガ端的ニザックバランニ申シマスト、先程申上ゲマシタヤウニ、麥酒一本ガ假令一錢二錢騰ッテモ直グ困ル點ヲバ、直接、切實ニ代表スル者ガ消費者ノ代表ト云フコトニナルノデアリマシテ、サウ云フ意味ノモノヲ斯ウ云フ統制委員會ニ御加ヘニチラナケレバ、私ハ駄目デアラウト思フノデアリマス、一例ヲ申シマスナニ無理解ナ男デハナイノデアリマシテ（笑聲）御話ノ點ハ十分能ク又考ヘテ見タイト

ハリ統制委員會デ届出ニ依ツテ値段ヲ決メル場合ニ於テ、値段ヲ高クスル場合ニ、共同ジ共通利害ヲ持ツ者ガ消費者ノ代表デアル、是ハ學問上カラ或ハ經濟上カラ申シマシタラドウカ知リマセヌガ、或ハ輿論ヲ代表スル新聞社ノ幹部ガ消費者ノ代表デアルカモ知レヌシ、或ハ又輿論ヲ代表シテ當選セラレタル衆議院議員モ消費者ノ代表デアルカモ知レマセヌガ、私等ガ端的ニザックバランニ申シマスト、先程申上ゲマシタヤウニ、麥酒一本ガ假令一錢二錢騰ッテモ直グ困ル點ヲバ、直接、切實ニ代表スル者ガ消費者ノ代表ト云フコトニナルノデアリマシテ、サウ云フ意味ノモノヲ斯ウ云フ統制委員會ニ御加ヘニチラナケレバ、私ハ駄目デアラウト思フノデアリマス、一例ヲ申シマスナニ無理解ナ男デハナイノデアリマシテ（笑聲）御話ノ點ハ十分能ク又考ヘテ見タイト

○吉野國務大臣 段々「デリケート」ナ御尋ニナッテ參リマシタガ、私モ率直ニ今申上げマス

○水谷委員 私ハ統制委員ノ人數ハ知リマテ商工大臣ノ御所見ヲ御聽キシタイト思ヒマス

云フヤウナモノモ、ソレノ一番適シタモノデアラウト思ヒマスルガ、此點ニ關シマシラウト思フノデアリマス、一例ヲ申シマスナニ無理解ナ男デハナイノデアリマスナニ無理解ナ男デハナイノデアリマシテ（笑聲）御話ノ點ハ十分能ク又考ヘテ見タイト

ガ大藏當局ガ口ヲ酸クシテ議會ニ於テサウ云フコトヲ言ツテ居ラレルノヲ勇敢ニ打消ス所ノ記事ガ、此三月三日ニ現ハレテ居ルノデアリマス、念ノ爲ニ之ヲ一寸讀ミマスレバ、麥酒會社デハ支那事變特別稅法ニ依ル麥酒稅ノ引上ト最近ニ於ケル生產費ノ昂騰ヲ理由トシテ麥酒販賣值段ノ引上ヲ企圖シ現在會社特約店渡シ値段一函四十八本當リ

十六圓二十錢ヲ一圓六十錢引上ガテ之ヲ十  
七圓八十錢ニ改訂スベク商工省ノ諒解ヲ求  
メテ居ル、ソレデハ此度ノ稅ニ依ッテドノ  
位ノ稅金ガ上ルカト申シマスレバ、結局新  
稅法ニ依ルト今後石當リ五圓引上ノ四十圓  
デ一函當リ六圓八十五錢六厘四毛ト云フコ  
トニナツテ居ルノデアル、結局一函ニ於テ八  
十六錢六厘四毛ノ引上ト云フコトニナツテ  
居ル、所ガ大體之ヲバ一圓六十錢程引上ゲ  
ルト、稅金ノ二倍引上ガヨウト云フヤウナ  
コトニナル、勿論生產費ガ上ヅテ居ルコトハ  
アリマセウケレドモ、斯ウ云フ稅金ガ上ヅ  
テ、一方大藏當局デハ稅金ノ率以上値上シ  
タ者ハ斷乎トシテ取締ルト云フコトヲ言ヅ  
居ラレマスガ、現在麥酒會社ハ斯ウ云フコ  
トヲヤラウトスル、昨年ノ八月麥酒値上當時  
ノ商工當局ノ腰ノ工合ヲ考ヘルト、今度  
モ亦易々ト通ルノデハナイカト云フヤウニ  
考ヘルノデアリマス、稅ノ二倍モ値段ヲ上  
ゲル、是ハ單ニ麥酒ダケデハゴザイマセヌ、  
或ハ燐寸モサウデアリマス、其他或ハ  
「ゴールデン・バット」フ如キハ、值ハ上ヅテ居ラ  
ナイケレドモ、品質ガ惡クナツテ居ルト云フ  
ヤウナ、インチキ振リモアルノデアリマスガ  
(笑聲)是ハ麥酒ダケデハアリマセヌ、唯  
重要產業統制法ノ中ニ含マレテ居ルモノト

シテ順序上之ヲ取上ガタノデ、之ニ對シテ  
商工當局ハ果シテ御許シニナルノカ、ソレ  
トモ斷乎トシテ拒否サレルノカ、或ハ許サ  
レルナラバドノ程度ニ許サレルカ、此點ヲ  
率直ニ御伺致シタイト思ヒマス  
○吉野國務大臣 御趣旨ハ能ク承知致シテ  
居リマス、唯サウ云フ具體的ナ問題ヲ私方  
今此處デドウスルスウスルト云フコトハ、  
統制委員會ト云フモノノ職能カラ見マシテ  
モヤハリ慎シダ方ガ宜シイト思ヒマス、ソ  
レデアリマスカラ今御述ニナリマシタモノ  
ヲ何錢ダケ上ガルカト云フヤウナコトハ避  
ケタイト思ヒマスガ、主義上ノ問題トシテ  
大藏當局モ述ペラレマシタ通リニ、此物品  
課稅ト云フコトヲ理由トスル場合ニ、ソレ  
ケタノ通ルノデハナカト云フヤウニ  
トヲヤラウトスル、昨年ノ八月麥酒値上當時  
ノ商工當局ノ腰ノ工合ヲ考ヘルト、今度  
モ亦易々ト通ルノデハナイカト云フヤウニ  
考ヘルノデアリマス、稅ノ二倍モ値段ヲ上  
ゲル、是ハ單ニ麥酒ダケデハゴザイマセヌ、  
或ハ燐寸モサウデアリマス、其他或ハ  
「ゴールデン・バット」フ如キハ、值ハ上ヅテ居ラ  
ナイケレドモ、品質ガ惡クナツテ居ルト云フ  
ヤウナ、インチキ振リモアルノデアリマスガ  
ウナコトハ絶對ニ許サナイ積リデアリマス、  
唯今日此場合ト致シマシテハ、生產費昂騰

ノ事情ハ其他ニモ色々ガザイマシテ、是ガ  
競合シテ參ツテ居ルト云フヤウナ場合モゴ  
ザイマスカラ、形ニ現レマシタ時ニハ——  
ドウ云フ形デ現レルカ存ジマセヌケレドモ、  
他ノ理由ヲ姑ク別トシテ、稅ダケノ關係ニ  
付テ申上ゲレバ、ソレヲ消費者ニ全部轉嫁  
シテハイカヌノダト云フコトハ大藏當局以  
上ニ——以上ト言フカ以下ト言フカ存ジマ  
セヌケレドモ、——ソコハ私ハモウ少シ潔  
癖ナ考ラ持ヅテ居リマス  
○水谷委員 今商工大臣ハ、斯ウ云フヤウナ  
レデアリマスカラ今御述ニナリマシタモノ  
ヲ何錢ダケ上ガルカト云フヤウナコトハ避  
ケタイト思ヒマスガ、主義上ノ問題トシテ  
大藏當局モ述ペラレマシタ通リニ、此物品  
課稅ト云フコトヲ理由トスル場合ニ、ソレ  
ケタノ通ルノデハナカト云フヤウニ  
トヲヤラウトスル、昨年ノ八月麥酒値上當時  
ノ商工當局ノ腰ノ工合ヲ考ヘルト、今度  
モ亦易々ト通ルノデハナイカト云フヤウニ  
考ヘルノデアリマス、稅ノ二倍モ値段ヲ上  
ゲル、是ハ單ニ麥酒ダケデハゴザイマセヌ、  
或ハ燐寸モサウデアリマス、其他或ハ  
「ゴールデン・バット」フ如キハ、值ハ上ヅテ居ラ  
ナイケレドモ、品質ガ惡クナツテ居ルト云フ  
ヤウナ、インチキ振リモアルノデアリマスガ  
ウナコトハ絶對ニ許サナイ積リデアリマス、  
唯今日此場合ト致シマシテハ、生產費昂騰

ノ事情ハ其他ニモ色々ガザイマシテ、是ガ  
競合シテ參ツテ居ルト云フヤウナ場合モゴ  
ザイマスカラ、形ニ現レマシタ時ニハ——  
ノ事情ハ其他ニモ色々ガザイマシテ、是ガ  
當局ノ御調查ヲ先づ最初ニ御聽キシタイト  
思ヒマス  
○吉野國務大臣 ソレハ事業ノ報告書ナリ、  
利益計算書ナリ以外ニハ私共ハ存ジマセヌ、  
詰リ會社ガ商法ノ規定ニ依ッテ公表シテアル  
シテ居リマスカラ、統制法ノ規定ニ基キマ  
シテ必要ガアレバ詳細ナル書類ノ提出ヲ命  
ズルト云フコトハ出來マス、私モ別段ニア  
ナタガ御知リニナツテ居ル以上ノ深イ知識  
ハ——麥酒會社ノ利益配當云々ニ關シマシテ  
ハ、持ヅテ居リマセヌ、恐ラク同ジヤウナ知  
識ダラウト思ヅテ居リマス  
○水谷委員 ソレデハ是ダケハ分リマセウ、  
此タビ麥酒ノ値上ヲサレタ場合ニ於キマシ  
テ、所謂「コスト」ノ引下、勞働者ヲ犠牲ニセ  
ナイデ、資本家ガ犠牲ニナツテ利潤ノ引下ヲ  
行ハレル餘地ガアル程、麥酒會社ガ儲ヶテ  
居ルト云フコトダケハ分ルデセウ、「コスト」  
ノ引下ヲスル前ニ自分ノ儲ヶヲ少クスル餘  
地ガアル程、麥酒會社ガ儲ヶテ居ルト云フ  
コトダケハ分ルデハアリマセヌカ  
○吉野國務大臣 其標準ハ、ヨク世上ニア  
ル議論デアリマスガ、會社ガ或ハ一割ノ配  
當ヲスル、或ハ某會社ハ二割ノ配當ヲシタ、

是ハ高配當ダト、斯ウ簡單ニ片付ケラレマ  
スガ、私ガ詳シク申上ゲル迄モナク、會社  
ノ配當ト云フモノニ付テハ長イ色々ナ沿革  
モアルノデアリマシテ、ヨク人ノ言フ議論  
デアリマスルケレドモ、高イ配當ノ會社ノ株  
ハヤハリ高イ值デ賣買サレテ居ルノデアリ  
マスカラ、拂込ヲシタ當時カラノ株主ガ現  
在ノ株主デアレバ、今言ウタヤウナ議論モ  
立ツデアリマセウケレドモ、經濟界ノコト  
ハ轉々シテ居ル色々ナ事情ガアリマスカラ  
、例ヘバ麥酒會社ノ利益配當ト云フモノ  
ヲ捉ヘテ、其利益ガ過當デアルトカドウデ  
アルトカ云フヤウナコトハ一概ニハ私ハ申  
サレナイト考ヘテ居リマス

○水谷委員 恐ラク商工大臣ハ麥酒ヲ御飲  
ミニナラヌ(笑聲)ト見エマシテ、餘リ消費  
者ニハ御理解ガナイノダラウト思ヒマス、  
是レ以上ハ私ハモウ追究ハ致シマセヌ、ソ  
レデ重要產業統制法ト云フモノヲ、商工當  
局ノ今ノ御言葉ニ依リマスレバ、可ナリ有  
效ノヤウニ考ヘテ居ラレマスガ、現在適用  
サレテ居ルモノハ二十四デゴザイマスネ、  
之ヲ更ニ其適用範圍ヲ殖ヤシテ、各種ノ電  
氣化學工業、斯ウ云フモノヲ重要產業統制  
法ノ適用範圍ニ加ヘル必要ハナイカ、此點  
ヲ一つ御聞キシタイト思ヒマス

スガ、私ガ詳シク申上ゲル迄モナク、會社  
ノ配當ト云フモノニ付テハ長イ色々ナ沿革  
モアルノデアリマシテ、ヨク人ノ言フ議論  
デアリマスルケレドモ、高イ配當ノ會社ノ株  
ハヤハリ高イ值デ賣買サレテ居ルノデアリ  
マスカラ、拂込ヲシタ當時カラノ株主ガ現  
在ノ株主デアレバ、今言ウタヤウナ議論モ  
立ツデアリマセウケレドモ、經濟界ノコト  
ハ轉々シテ居ル色々ナ事情ガアリマスカラ  
、例ヘバ麥酒會社ノ利益配當ト云フモノ  
ヲ捉ヘテ、其利益ガ過當デアルトカドウデ  
アルトカ云フヤウナコトハ一概ニハ私ハ申  
サレナイト考ヘテ居リマス

○吉野國務大臣 電氣化學工業ト申シマシ  
テモ非常ニ範圍ガ廣イノデアリマスガ、多  
分御話ノ趣旨ハ工業藥品ト云フモノノ近來  
ノ市價ノ暴騰ニ付テノ御心配デアラウト思  
ヒマスガ、物ニ依リマシテハ私ハモウ少シ  
徹底シテ——此工業藥品ニ付キマシテハ關  
係業者ノ需給調整ノ組合ヲ作ラセマシテ、  
ソコデ之ヲ原料トスル生産者ニ其物ヲ配給  
スル、是ガ一番適切デハナイカト云フ風ニ  
考ヘテ居リマス、ソレニ關スル法律案ノ改  
正モ此議會ニ提案シテ御協贊ヲ願シテ居ル譯  
デアリマス、尙ホ其以外ノ物ニ於キマシテ、  
統制法ノ規定ニ加フルコトガ適切デアルト  
云フモノガアレバ、加フルニ決シテ躊躇シ  
ナイ考デアリマス

○吉野國務大臣 私モサウ云フ風ニ考ヘテ  
居リマス、亞米利加ノ「トラスト」ヲ取締ノ例  
ナドニ於キマシテモ、政府ニ厖大ナル組織  
ヲ置イテ各業別ニ仔細ナ調査ヲシテ居ル、ソ  
レガ「トラスト」ヲ取締ルノニ一番效果ガア  
ルノデアリマスカラ……、唯日本ニ於キマ  
シテハ獨占企業ト云フモノノ發達ハ、今麥  
酒ノ例ヲ御述ベニナリマシタガ、麥酒、紙  
ナドガ極メテ主タルモノデアリマシテ、亞  
米利加トハ大分國情ガ違ヒマスノデ、マダ  
サウ云フコトヲ實行ヲスルト迄ハ考ヘテ居  
リマセヌケレドモ、併シ御話ノコトハ理論  
トシテハ私ハ當然ダラウト存ジテ居リマス  
マスト、結局先程統制委員會ノ場合ニ御述  
ベニナシタ事柄カラ考ヘマシテ、ヤハリ此重  
要產業統制法ノ監査制ト云フモノヲ強化致  
スル私ノ質問ニ對シマシテハ、先づ第一點、  
○水谷委員 以上重要產業統制法ニ關シマ  
スル私ノ質問ニ對シマシテハ、先づ第一點、  
何ヲ目標トシテ物價騰貴ヲ抑ヘナケレバナ  
ヌカト云フ點、又消費者代表ト云フ點ダ  
ケハ商工大臣ト意見ガ違ヒマスガ、他ハ皆  
ハ決シテ宜クナイ、何故宜クナイカト言ヘ  
バ、競争ヲサセナイヤウニナルノデアルカ  
ラ、隨テ良イ物ガ出來ヌヤウニナルシ、古  
イ機械ヲ依然トシテ保存サセテ、ソレニ依ツ

生産費用、或ハ儲ヶ其他ガ分ラナイノデハ  
何モナラナイノデアリマシテ、結局此監査  
制ヲバ現在ノモノヨリモモット強化スル必要  
ナラナイノデアリマシテ、其御尤ノ點ヲ一  
日モ早ク實行サレンコトヲ私ハ希望スル次  
第デアリマス、是デマダ三分ノ一カ四分ノ  
一シカ濟ンデ居リマセヌガ、森田サンガ率  
ガアラウト思フノデアリマス、ソレデナケ  
レバ駄目ダト思フノデアリマス、此點ハ如  
何デアリマスカ

○吉野國務大臣 私モサウ云フ風ニ考ヘテ  
居リマス、亞米利加ノ「トラスト」ヲ取締ノ例  
ナドニ於キマシテモ、政府ニ厖大ナル組織  
ヲ置イテ各業別ニ仔細ナ調査ヲシテ居ル、ソ  
レガ「トラスト」ヲ取締ルノニ一番效果ガア  
ルノデアリマスカラ……、唯日本ニ於キマ  
シテハ獨占企業ト云フモノノ發達ハ、今麥  
酒ノ例ヲ御述ベニナリマシタガ、麥酒、紙  
ナドガ極メテ主タルモノデアリマシテ、亞  
米利加トハ大分國情ガ違ヒマスノデ、マダ  
サウ云フコトヲ實行ヲスルト迄ハ考ヘテ居  
リマセヌケレドモ、併シ御話ノコトハ理論  
トシテハ私ハ當然ダラウト存ジテ居リマス  
マスト、結局先程統制委員會ノ場合ニ御述  
ベニナシタ事柄カラ考ヘマシテ、ヤハリ此重  
要產業統制法ノ監査制ト云フモノヲ強化致  
スル私ノ質問ニ對シマシテハ、先づ第一點、  
○水谷委員 以上重要產業統制法ニ關シマ  
スル私ノ質問ニ對シマシテハ、先づ第一點、  
何ヲ目標トシテ物價騰貴ヲ抑ヘナケレバナ  
ヌカト云フ點、又消費者代表ト云フ點ダ  
ケハ商工大臣ト意見ガ違ヒマスガ、他ハ皆  
ハ決シテ宜クナイ、何故宜クナイカト言ヘ  
バ、競争ヲサセナイヤウニナルノデアルカ  
ラ、隨テ良イ物ガ出來ヌヤウニナルシ、古  
イ機械ヲ依然トシテ保存サセテ、ソレニ依ツ

テ生産ヲヤルカラ、却テ「コスト」ハ高ク付ク  
シスルカラ、此重要產業統制法ニ依ツテ行ク  
コトハ、決シテ產業ノ發達ヲ促スモノデハ  
ナイ、寧ロ阻止スルモノデアルト言ツテ居ツ  
タノデアリマスガ、今ノ水谷サンノ質問ニ  
對スル商工當局ノ答ヲ聽イテ居ルト、此重  
要產業統制法ノ發動ノ如何ニ依ツテハ物價  
ガ抑ヘラレルヤウニ言ハレルノデスガ、昨  
夜モ大藏大臣ニ私ハ御質問シタノデスガ、  
抑ヘラレヌト私ハ思フ、ドウシテモ需要ガ  
多クテ供給ガ足リナケレバ、幾ラ法律ノ力  
ヲ以テシテモ抑ヘルコトガ出來ヌ、其一端  
ノ例トシテハ、是ハ一番能ク御承知デアリ  
マスガ、昨夜モ申上ゲマシタノデスガ、日  
本製鐵會社ハ商工省ガ管理シテ居ラレテ、  
銑鐵ハ慥カ九十圓位デ鑄工業者其他ニ割當  
テテ賣ツテ居ルノデス、然ルニ「スクラップ」其  
他一般市場ノ銑鐵相場ハ、二百圓近イ、百  
八十九圓今日致シテ居ルノデアリマス、サ  
ウスルト日本製鐵會社ヲ商工省ガ抑ヘ付ケ  
テ統制ヲ取ツテ安ク賣ラシテモ、需要者ニハ  
一向其安イ物ガ行渡ラズニ、中間ニ居ル其  
拂下ヲ受ケタト云フカ、賣下ヲ受ケタ者ガ  
暴利ヲ取ツテ、中ニハ其銑鐵ヲ九十九圓内外デ  
貰ッテ、鑄物ナドヲ作ラズニ其儘轉賣ラシ  
テ、非常ニ暴利ヲ取ツテ居ル者ガアルト云フ

ヤウナ狀態ヲ見テモ、政府ノ下デ統制ヲ取ツ  
テヤツテモ、結局消費者ノ所ヘ行ク迄ニハ何  
等其統制ガ行ヒ切レスノデアリマス、商工  
省ガ一番初メニ重要產業統制法ノ發動ナサツ  
テ、適用ナサツタノハ「セメント」デアリマス、  
「セメント」ニ對シテ今日マダ價格ヲ變ヘテ  
居ラヌ、商工省ガ認可スル統制價格ヲ變ヘテ  
居ラレヌガ、實際ノ市場相場ト云フモノハ、  
アレカラ一袋二十錢以上高價ニ取引サレテ  
居ル、ソレハ關門デ九十八錢、芝浦デ一圓  
三錢ト云フ風ニ統制値段ヲ御取リニナツテ、  
消費者方面ニ行クノニ一定ノ運賃ガ掛ルガ、  
其運賃デ以テ供給スレバ統制ハ保テルガ、  
一袋幾ラト賣ル場合ニハ三十錢位ノ運賃ヲ  
含メテ居ルカラ、結局元値ヲ或ル一定ノ場  
所デ標準價格ヲ定メテ統制ヲ取ツテモ、消費  
者ハ決シテ恩典ニ與ラナイ、麥酒ノ如キモ  
ノデモ、競爭ヲスル時ニハ一定ノ價格カラ  
割引ヲシタリ、色々ナ……(税法ニ關係ハ  
ナイ、統制法ノ委員會デヤナイ)ト呼フ者  
アリ)、能ク靜ニ聞イテ戴ケバ分ル——ソコ  
デ物品稅ヲ課ケレバ物ガ上ルカ上ラヌカト  
云フ議論ハ、今私ガ申上ゲルヤウニ、統制ヲ  
タカラ、統制法ノ運用ノ問題トシテ申上ゲ  
タノデアリマス、物價問題ヲ統制法デ解決  
スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセ  
ヌ、物價ノ問題ニ付キマシテハ、先程ノ水  
谷サンノ御尋、ソレカラ一番最初ノ委員會  
デ前田サンカラ御尋ガゴザイマシテ、私ノ  
所信ヲ大體申述ベタノデゴザイマス、物價  
シ切レヌ、統制ヲシ切レナカッタラ物價

モ、鐵デモ「セメント」デモ統制ヲ御取リニ  
ナツテ居ルガ、其統制ハ結局徹底セヌカラ、  
消費者ハ何等ノ恩典ニ浴サヌコトニナルカ  
ラ、稅ガ上ツテソレダケ高ク賣ラセルト  
テメント」ニ對シテ今日マダ價格ヲ變ヘテ  
居ラヌ、商工省ガ認可スル統制價格ヲ變ヘテ  
居ラレヌガ、實際ノ市場相場ト云フモノハ、  
アレカラ一袋二十錢以上高價ニ取引サレテ  
居ル、ソレハ關門デ九十八錢、芝浦デ一圓  
三錢ト云フ風ニ統制値段ヲ御取リニナツテ、  
消費者方面ニ行クノニ一定ノ運賃ガ掛ルガ、  
其運賃デ以テ供給スレバ統制ハ保テルガ、  
一袋幾ラト賣ル場合ニハ三十錢位ノ運賃ヲ  
含メテ居ルカラ、結局元値ヲ或ル一定ノ場  
所デ標準價格ヲ定メテ統制ヲ取ツテモ、消費  
者ハ決シテ恩典ニ與ラナイ、麥酒ノ如キモ  
ノデモ、競爭ヲスル時ニハ一定ノ價格カラ  
割引ヲシタリ、色々ナ……(税法ニ關係ハ  
ナイ、統制法ノ委員會デヤナイ)ト呼フ者  
アリ)、能ク靜ニ聞イテ戴ケバ分ル——ソコ  
デ物品稅ヲ課ケレバ物ガ上ルカ上ラヌカト  
云フ議論ハ、今私ガ申上ゲルヤウニ、統制ヲ  
タカラ、統制法ノ運用ノ問題トシテ申上ゲ  
タノデアリマス、物價問題ヲ統制法デ解決  
スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセ  
ヌ、物價ノ問題ニ付キマシテハ、先程ノ水  
谷サンノ御尋、ソレカラ一番最初ノ委員會  
デ前田サンカラ御尋ガゴザイマシテ、私ノ  
所信ヲ大體申述ベタノデゴザイマス、物價  
シ切レヌ、統制ヲシ切レナカッタラ物價

モ、鐵デモ「セメント」デモ統制ヲ御取リニ  
ナツテ居ルガ、其統制ハ結局徹底セヌカラ、  
消費者ハ何等ノ恩典ニ浴サヌコトニナルカ  
ラ、稅ガ上ツテソレダケ高ク賣ラセルト  
テメント」ニ對シテ今日マダ價格ヲ變ヘテ  
居ラヌ、商工省ガ認可スル統制價格ヲ變ヘテ  
居ラレヌガ、實際ノ市場相場ト云フモノハ、  
アレカラ一袋二十錢以上高價ニ取引サレテ  
居ル、ソレハ關門デ九十八錢、芝浦デ一圓  
三錢ト云フ風ニ統制値段ヲ御取リニナツテ、  
消費者方面ニ行クノニ一定ノ運賃ガ掛ルガ、  
其運賃デ以テ供給スレバ統制ハ保テルガ、  
一袋幾ラト賣ル場合ニハ三十錢位ノ運賃ヲ  
含メテ居ルカラ、結局元値ヲ或ル一定ノ場  
所デ標準價格ヲ定メテ統制ヲ取ツテモ、消費  
者ハ決シテ恩典ニ與ラナイ、麥酒ノ如キモ  
ノデモ、競爭ヲスル時ニハ一定ノ價格カラ  
割引ヲシタリ、色々ナ……(税法ニ關係ハ  
ナイ、統制法ノ委員會デヤナイ)ト呼フ者  
アリ)、能ク靜ニ聞イテ戴ケバ分ル——ソコ  
デ物品稅ヲ課ケレバ物ガ上ルカ上ラヌカト  
云フ議論ハ、今私ガ申上ゲルヤウニ、統制ヲ  
タカラ、統制法ノ運用ノ問題トシテ申上ゲ  
タノデアリマス、物價問題ヲ統制法デ解決  
スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセ  
ヌ、物價ノ問題ニ付キマシテハ、先程ノ水  
谷サンノ御尋、ソレカラ一番最初ノ委員會  
デ前田サンカラ御尋ガゴザイマシテ、私ノ  
所信ヲ大體申述ベタノデゴザイマス、物價  
シ切レヌ、統制ヲシ切レナカッタラ物價

モ、鐵デモ「セメント」デモ統制ヲ御取リニ  
ナツテ居ルガ、其統制ハ結局徹底セヌカラ、  
消費者ハ何等ノ恩典ニ浴サヌコトニナルカ  
ラ、稅ガ上ツテソレダケ高ク賣ラセルト  
テメント」ニ對シテ今日マダ價格ヲ變ヘテ  
居ラヌ、商工省ガ認可スル統制價格ヲ變ヘテ  
居ラレヌガ、實際ノ市場相場ト云フモノハ、  
アレカラ一袋二十錢以上高價ニ取引サレテ  
居ル、ソレハ關門デ九十八錢、芝浦デ一圓  
三錢ト云フ風ニ統制値段ヲ御取リニナツテ、  
消費者方面ニ行クノニ一定ノ運賃ガ掛ルガ、  
其運賃デ以テ供給スレバ統制ハ保テルガ、  
一袋幾ラト賣ル場合ニハ三十錢位ノ運賃ヲ  
含メテ居ルカラ、結局元値ヲ或ル一定ノ場  
所デ標準價格ヲ定メテ統制ヲ取ツテモ、消費  
者ハ決シテ恩典ニ與ラナイ、麥酒ノ如キモ  
ノデモ、競爭ヲスル時ニハ一定ノ價格カラ  
割引ヲシタリ、色々ナ……(税法ニ關係ハ  
ナイ、統制法ノ委員會デヤナイ)ト呼フ者  
アリ)、能ク靜ニ聞イテ戴ケバ分ル——ソコ  
デ物品稅ヲ課ケレバ物ガ上ルカ上ラヌカト  
云フ議論ハ、今私ガ申上ゲルヤウニ、統制ヲ  
タカラ、統制法ノ運用ノ問題トシテ申上ゲ  
タノデアリマス、物價問題ヲ統制法デ解決  
スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセ  
ヌ、物價ノ問題ニ付キマシテハ、先程ノ水  
谷サンノ御尋、ソレカラ一番最初ノ委員會  
デ前田サンカラ御尋ガゴザイマシテ、私ノ  
所信ヲ大體申述ベタノデゴザイマス、物價  
シ切レヌ、統制ヲシ切レナカッタラ物價

モ、鐵デモ「セメント」デモ統制ヲ御取リニ  
ナツテ居ルガ、其統制ハ結局徹底セヌカラ、  
消費者ハ何等ノ恩典ニ浴サヌコトニナルカ  
ラ、稅ガ上ツテソレダケ高ク賣ラセルト  
テメント」ニ對シテ今日マダ價格ヲ變ヘテ  
居ラヌ、商工省ガ認可スル統制價格ヲ變ヘテ  
居ラレヌガ、實際ノ市場相場ト云フモノハ、  
アレカラ一袋二十錢以上高價ニ取引サレテ  
居ル、ソレハ關門デ九十八錢、芝浦デ一圓  
三錢ト云フ風ニ統制値段ヲ御取リニナツテ、  
消費者方面ニ行クノニ一定ノ運賃ガ掛ルガ、  
其運賃デ以テ供給スレバ統制ハ保テルガ、  
一袋幾ラト賣ル場合ニハ三十錢位ノ運賃ヲ  
含メテ居ルカラ、結局元値ヲ或ル一定ノ場  
所デ標準價格ヲ定メテ統制ヲ取ツテモ、消費  
者ハ決シテ恩典ニ與ラナイ、麥酒ノ如キモ  
ノデモ、競爭ヲスル時ニハ一定ノ價格カラ  
割引ヲシタリ、色々ナ……(税法ニ關係ハ  
ナイ、統制法ノ委員會デヤナイ)ト呼フ者  
アリ)、能ク靜ニ聞イテ戴ケバ分ル——ソコ  
デ物品稅ヲ課ケレバ物ガ上ルカ上ラヌカト  
云フ議論ハ、今私ガ申上ゲルヤウニ、統制ヲ  
タカラ、統制法ノ運用ノ問題トシテ申上ゲ  
タノデアリマス、物價問題ヲ統制法デ解決  
スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセ  
ヌ、物價ノ問題ニ付キマシテハ、先程ノ水  
谷サンノ御尋、ソレカラ一番最初ノ委員會  
デ前田サンカラ御尋ガゴザイマシテ、私ノ  
所信ヲ大體申述ベタノデゴザイマス、物價  
シ切レヌ、統制ヲシ切レナカッタラ物價

在ノヤウナ狀態ニ置キマスレバ、紙ノ問題、麥酒ノ問題ニ付テ見セ付ケラレテ居ルヤウニ、價格ハドウ云フ風ニナルカ分ラヌト思フ、此點ヲ聽イタノデアリマス、更ニ色々問題ガアリマスガ、稅金ニ關スルダケノ問題ト致シマシテ、此度通行稅ト云フモノガ掛ル、所ガ私等ノ立場カラ申シマスレバ、瓦斯、電氣、水道等ノ公益事業ハ、其設備トカ、料金ノ改善トカト云フコトガ第一デアリマスガ、是ガ此度ノ稅金ナドノ關係デ或ル程度足代ガ上ツテ來ルト云フヤウナ關係モ吾々考ヘル、吾々ハ鐵道運賃ノ引下トカ、斯ウ云フ公益事業ノモノヲ、物價騰貴ヲ抑制スル先鞭トシテ、先ニ逆ニ引下ラスル方ガ、物價騰貴ヲ抑ヘル關係上私ハ非常ニ宜イト思ヒマスガ、商工大臣ノ之ニ對スル御意見ヲ御聽キシタイ

○吉野國務大臣 下ゲレバ下ゲタダケノコトハアラウト思ヒマスケレドモ、今御示シニナリマシタヤウニ、假ニ瓦斯ノ料金ヲ下ゲタカラト云ッテ、當然ニハ綿布ハ下ラヌト思ヒマス、ヤヘリソレヽ其所々ニ依ツテ適當ニヤルト云フ以外ニハ方法ハナイト思ヒマス

○水谷委員 結局私等ノ考カラ申シマスレバ、斯ウ云フ物價問題ニ對スル目標トカ、

府自ラガ先ニ之ヲ示サナケレバナラヌ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、政府ノ手ノ届ク所ノ重要產業デアルトカ、或ハ又公益事業ト云フモノニ關シテ私ハ御尋シタノデアリマシテ、其點カラ抑ヘテ行キマスレバ、爾餘ノ小サイ所ノ商品デアルトカ云フモノノ抑ヘガ效クト思フ、例ヘバ「ビール」ノ問題ニ致シマシテモ、商工省ノ立場カラ今ハツキリ言ヘナイト仰シヤイマスガ、若シ此際商工當局ガ斷乎タル態度ヲ聲明サレ、バ、或ハ上げヨウト思ツテ居タ者デモ、ウツカリスルト暴利取締令ニ引掛ルトカ、或ハ其他ノ關係デドウダトカ云フ考デ非常ニ躊躇スルダラウト思フ、此點ヲ私ハ聽イタノデアリマスガ、ソレニ對シマシテ商工當局ト意見ガ違ツテ居リマスレバ、私ハ是レ以上追究シヨウトハ思ヒマセヌ、尙ホ物價問題ニ關シマシテ、色々聽キタイノデアリマスガ、是ハ稅金トハ間接ニハ皆關係ガアルコトデゴザイマスガ、直接ニ關係ノアル所ノ問題ハ、大體前ニ森田サンノ申シマシタ點デ盡キテ居ルト思ヒマスデ、私ノ商工大臣ニ對スル質問ヒマス、出來ルダケ諸外國ノ情勢ニ對シマシテ、

○宮本委員 商工大臣ハ目下ノ戰時體制ト申シマスカ、所謂時局下ノ經濟事情ニ於キシテ、出來ルダケ生産ノ擴充ヲ圖リ、尙ホ出來ルダケ諸外國ノ情勢ニ對シマシテ、

○高橋委員長 宮本君ニ此場合商工大臣ニ對スル質問ヲ許シマス

或ハ模範、手本トカ云フヤウナモノハ、政

府自ラガ先ニ之ヲ示サナケレバナラヌ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、政府ノ手ノ届ク所ノ重要產業デアルトカ、或ハ又公益事業ト云フモノニ關シテ私ハ御尋シタノデアリマシテ、其點カラ抑ヘテ行キマスレバ、爾餘ノ小サイ所ノ商品デアルトカ云フモノノ抑ヘガ效クト思フ、例ヘバ「ビール」ノ問題ニ致シマシテモ、商工省ノ立場カラ今ハツキリ言ヘナイト仰シヤイマスガ、若シ此際商工當局ガ断乎タル態度ヲ聲明サレ、バ、或ハ上げヨウト思ツテ居タ者デモ、ウツカリスルト暴利取締令ニ引掛ルトカ、或ハ其他ノ關係デドウダトカ云フ考デ非常ニ躊躇スルダラウト思フ、此點ヲ私ハ聽イタノデアリマスガ、ソレニ對シマシテ商工當局ト意見ガ違ツテ居リマスレバ、私ハ是レ以上追究シヨウトハ思ヒマセヌ、尙ホ物價問題ニ關シマシテ、色々聽キタイノデアリマスガ、是ハ稅金トハ間接ニハ皆關係ガアルコトデゴザイマスガ、直接ニ關係ノアル所ノ問題ハ、大體前ニ森田サンノ申シマシタ點デ盡キテ居ルト思ヒマスデ、私ノ商工大臣ニ對スル質問ヒマス、出來ルダケ諸外國ノ情勢ニ對シマシテ、

○宮本委員 私ノ商工大臣ニ御伺ヲ致シマス點ヘ、ヤハリ增稅ニ關係スル問題デアリマスガ、主トシテ貿易振興ノ問題デアリマスガ、若干增稅案ニ直接關係セナイ點ト云フモノニ關シテ私ハ御尋シタノデアリアルノデ、其必要上ヨリ質問ヲ致スノデアリマスガ、若干增稅案ニ關シテ色々委員各位モ委員長ニ於テ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ極メテ簡単に御伺致ス積リデアリマス、此增稅案ニ關シマシテ色々委員各位ヨリ、本增稅ガ或將來產業資本ノ運用上影響ヲセヌカト云フ御要旨ノ御質問モアッタヨリ、本增稅案ガ如何ニ生產ノ擴充ト、貿易ノノデアリマス、ソレ等ノ關係ヨリ致シマシテ、本增稅案ガ如何ニ生產ノ擴充ト、貿易ノ振興ニ影響スルヤト云フ點ニ付キマシテ、商工大臣ノ大體ノ御所見ヲ御伺致シタイト存ジマス

○宮本委員 其御方針ニ付テ、如何ニ具體的ニ貿易振興政策ヲ採ルカト云フコトガ問題ニナツテ來ルダラウト存ジマス、大體ニ於キマシテ此程度ノ增稅デアリマスレバ、生産擴充ニ關スル產業資金ノ關係ニ於テモ心配ハナイ、目下ノ時局關係ノ經濟事情ト致シマシテ、出來ルダケノ生產擴充モ圖ラナケレバナラヌシ、又積極的ニ貿易ノ振興策モ講ジナケレバナラヌ、茲ニ於テ目下ノ我國ノ各種ノ制度ヨリ致シマシテ、又現在ノ經濟事情ヨリ致シマシテ、如何ナル方針ヲ採ルカト云フコトガ、自然具體的ノ問題ニナルダラウト存マジス、ソコデ私ハ具體的ニ數項ニ瓦リマシテ、大體方針ヲ商工大臣ニ御伺致シマス

○吉野國務大臣 思ガアリマスカ、其點ヲ御伺致シマス

○吉野國務大臣 勿論サウ致シタイト存ジマス

之ニ對應スル我國ト致シマシテハ、最モ此點ニ重點ヲ置カナケレバナラズ問題デアラウト存ジマス、若シ此場合ニ於キマシテ、他ノ國ノ產業ノ物資ガ盛ニ蒙古北支方面ニ消費セラレ、所謂貿易ノ振興ヲ見ルコトニナリマシテ、我國ノ物產ノ消費ニ影響スルヤウナコトガ若シアリマシタナラバ、是ハ國民ノ現在ノ時局ニ關スル一般的觀念ヨリ致シマシテモ、重大ナル事柄デアラウト存ジマス、此意味ヨリ致シマシテ、蒙古北支——現在ニ於キマシテハ北支方面ノコトメテ必要ナル問題デアラウト存ジマス、之ニ對スル商工大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス。

○吉野國務大臣 勿論蒙古北支、殊ニ北支方面ニ對シマシテハ、我國ノ商品ノ販路トシテ大イニ之ヲ培養シタイト思ツテ居リマス、唯其前提ト致シマシテ、ヤハリ購買力ヲ其地方ニ付ケルト云フコトガ一番大事デゴザイマスカラ、吾々ト致シマシテモ、日本ノ重要ナ工業ノ原料デアッテ、其方面カラ取り得ルモノ、例ヘバ棉花デアリマストカ、或ハ羊毛デアリマストカ、サウ云フモノハ、出來ルダケコチラノ方デ買ツテ、サウシテ北支方面ノ一般住民ノ購買力ヲ付ケテ、ソレニ

○宮本委員 ソレハ常識的ニ考ヘマシテ當然ノコトデアリマスガ、ソレヲ實行スル方針トシテ、我國ノ蒙古北支ニ對スル貿易方針ヲ自由方針ニ執ルカ、或ル程度マデ統制スルカ、生産力ノ擴充ヲ圖リ、貿易ノ振興ヲ圖ルト云フ昨今ノ政府ノ大體ノ御方針ニ付テハ、十分其精神ヲ持ツテ居ルト云フ御答辯デアリマスガ、時ニ蒙古北支ノミナラズ、其事實ニ政府ノ御方針ガ副ハザル點ヲ認ムル場合ガアリマス、是ハ先づ申上ゲルコトヲ此場合省略致シマシテ、第一只今商工大臣ノ申サレタ御方針ヲ實現スルニ付テハ、ドウ云フ方針ヲ執ルカ、當業者ノ自由競爭ノ方針ニ依ツテ、只今御答辯ニナリルト云フコトニナレバ、自由貿易デハナクシテ、統制ト云フコトニナルノデハナイカラムスカラ、常識的ニ考ヘレバ左様ニ私ハ解釋ヲ致シマス、又或ル點マデ統制ヲ付ケナケレバ、餘リ貿易者等ニ個人的自由ノ立場ニ於テ自由貿易ヲ爲サシムルト云フコトハ、宜シクナイト云フ考デアリマスカラ、其場合ヲ貿易組合等ヲ中心トシテ自治的統制ニ依ツテ、蒙古北支ノ貿易方針ヲ立テルト云フ固イ御決心ヲ商工大臣ハ御持チ下サイマシテ、此方針ニ付キマシテ御所見ヲ御伺シタイノデアリマス

○吉野國務大臣 私ハ根本ハヤハリ自由ニ活動スルガ宜シイト思ツテ居リマス、唯自由ニヤリマスト、餘リ自由デアルガ爲ニ、所謂日本ノ當業者ノ常ト致シマシテ、無謀ナ競争ヲ致シマスカラ、彼等ガ無謀ノ競争ヲスルノ愚ナルコトヲ悟ツテ、彼等自ラ輸出組合ト云フヤウナモノヲ作リマシテ、彼等ノガ北支ニ對スル貿易ノ根本ノ方針デアリマス

○宮本委員 ソレハ常識的ニ考ヘマシテ當然ノコトデアリマスガ、ソレヲ實行スル方針トシテ、我國ノ蒙古北支ニ對スル貿易方針ヲ執ルカ、或ル程度マデ統制スルカ、生産力ノ擴充ヲ圖リ、貿易ノ振興ヲ圖ルト云フ昨今ノ政府ノ大體ノ御方針ニ付テハ、十分其精神ヲ持ツテ居ルト云フ御答辯デアリマスガ、時ニ蒙古北支ノミナラズ、其事實ニ政府ノ御方針ガ副ハザル點ヲ認ムル場合ガアリマス、是ハ先づ申上ゲルコトヲ此場合省略致シマシテ、第一只今商工大臣ノ申サレタ御方針ヲ實現スルニ付テハ、ドウ云フ方針ヲ執ルカ、當業者ノ自由競爭ノ方針ニ依ツテ、只今御答辯ニナリルト云フコトニナレバ、自由貿易デハナクシテ、統制ト云フコトニナルノデハナイカラムスカラ、常識的ニ考ヘレバ左様ニ私ハ解釋ヲ致シマス、又或ル點マデ統制ヲ付ケナケレバ、餘リ貿易者等ニ個人的自由ノ立場ニ於テ自由貿易ヲ爲サシムルト云フコトハ、宜シクナイト云フ考デアリマスカラ、其場合ヲ貿易組合等ヲ中心トシテ自治的統制ニ依ツテ、蒙古北支ノ貿易方針ヲ立テルト云フ固イ御決心ヲ商工大臣ハ御持チ下サイマシテ、此方針ニ付キマシテ御所見ヲ御伺シタイノデアリマス

○吉野國務大臣 著々サウ云フ方針デ進ミタイト存ジテ居リマス

○宮本委員 ソレナラバ 現在ノ御方針ヲ——餘リ露骨ニ申上ゲルコトハ宜シクナイ點ガアルカト存ジマスカラ、露骨ニハ申シマセヌガ、現在ノ政府ノ監督ト申シマスカラ、其方針ハ事實ハサウ督勵ト申シマスカ、其方針ハ事實ハサウ行シテ居ラナイ點ガアル、ソレハドウ云フ點カト云フコトニ付キマシテハ、是ハ事務的關係モアラウト存ジマスカラ、其場合ヲ申上ゲルコトハ省略致シマシテ、何レ事務關係ノコトハ政府委員ヨリ或ル機會ニ於テ御伺致スコトニ致シマス、率直ニ私ハ現在ノ方針ガ、只今御答辯ノヤウナ方針ニハナツテ居ラナイト云フコトヲ申上ゲマシテ、將來ノ商工大臣ノ監督ノ上ニ御考慮ヲ御願シタイト存ジマス、尙ホ蒙古北支方面ノ他方的關係ヲ申上ゲマシタカラ、序デニ尙



昭和十三年三月五日印刷

昭和十三年三月六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局